

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 三 元年 2月 6日

調査者氏名 和泉 守

221-88-104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Fishing gear technology (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) /人 (女) 人 (男女不問) 人	91年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture Fishery Resources Development Department (日本語): 農業省 漁業資源開発局					
② 隊員勤務先名称: Fish production and Marketing Corporation 日本語名称() 所在地: Assab office ツツサブ 主要都市(行政上)から 860キロ					
③ 事業規模及び内容: F.P.M.C.B. 地域漁民から、魚類を買い上げ、各市場に送っており。現在ツツサブの他、スブイ、イルバシタ、マツワの各地で業務を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 船外機付小型ボート、 ツツサブに於ける冷凍施設は40トンクラス漁船 現在ないか、F.A.O.により設置予定					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: アドバイザー					
② 技術の範囲: 各種漁網の使用、修理に関する技術、知識、操縦、 漁業に関する中立的知識					
③ 業務の形態: ツツサブ(紅海)沿岸に最も合った漁網の選定が最重要業務である。このため、漁具使用に係る技術指導の必要が、毎季節毎の魚種調査を行うこととなる。技術指導は実際に仕事を行うのから行うこととなる。特に、ツツサブ以外への外出も、技術指導を行うこととなる。					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業省職員、地域漁民 技術水準は低い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 十分な機材はない。但しF.A.O.による紅海漁業再開発計画が実施されている点、順次機材、諸設備の導入が予定されている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、アムハラック					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国に於ける、沿岸漁獲高は、1957年をピークとして、年々減少し、現在は僅か年間2,000~3,000トとなっている。そこでF.A.O.により、紅海漁業再開発が行われており1995年には漁獲量を1100トにするべく活動中である。漁業に関する内的知識、技術を持った人材の不足している。当国に於て、その育成は急務であり、日本人に期待するところが大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 3年以上の経験 専門学校教育以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

JL (FAX) 05/ 01/ 20

記入 昭和 57 年 9 月 日

調査者氏名 月井 芳文

26190/05

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
セネガル	(現地公用語) APPAREUX ET METHODES DE (日本語) 漁具漁法	新規 (交 替)	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministère des Ressources Animales (日本語): 動物資源省					
② 隊員勤務先名称: Centre de Pêche de Missirah 日本語名称 (ミシラ漁業センター) 所在地: Missirah 主要都市 (ダカール) から 285 キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本の無償資金協力 (7.7 億円) により、缶缶整備 機材供与が 行われ、水産物流通経路開拓、漁具漁法の改良、水産物加工品の品質向上、 漁民の組織化、漁民の生活改善などを行なう地域振興プロジェクト					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業技術者					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: センター内に居住し、プロジェクト漁業協同組合員に対し指導を行なう。 JICA 専門家とともに水産無償による供与機材の利用など 共同業務もある。					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は漁民、水産局職員との 連携による技術指導					
⑤ 現地で利用できる機材: 無償資金協力による漁業資材、漁具 etc.					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 日本人専門家 2 名 協力隊 2 名。					
⑦ 使用する言語: フランス語、ワロフ語、セーレ語、マンディンク語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: セネガルの外貨獲得第一産業となる水産業の中心と なるのは沿岸漁業であり、それに携わる漁民は一般に零細漁民と言われ、彼らのバル アップ及び零細漁業振興はセネガルの大きな課題のひとつである。セネガル政府は中部 地域において日本の技術協力による地域漁業の振興に大きな期待を込めている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○漁具漁法について十分な知識と経験を有する者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2 年 3 月 10 日

調査者氏名 田中敏裕

32890005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ドミニカ共和国	(現地公用語) Metodo y Aparejos de Pesca (日本語) 18 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	9/年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Secretaria de Estado de Educación, Bellas Artes y Cultos (日本語): 文部省					
② 隊員勤務先名称: Instituto Politecnico de Azua 日本語名称(アズア高等専門学校) 所在地: km 2.5, Carretera Sandez, Azua 主要都市(首都)から ｷロ					
③ 事業規模及び内容: 4年制(8学期)の技術者養成学校。水産学科, 農業経営科, 農産物加工科, 機械化農業科, 農業機械(트랙터)科を有し 14~21才までの約250名の生徒が在学している					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 理科実験機材, 食品加工機器, 大型冷凍庫 その他 相当の機材が揃っている(米州開発の援助)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産学科の漁具漁法講師					
② 技術の範囲: 漁具及び沿海漁業の各種漁法の知識と技術 航海術, 海洋学, 魚類生態・生理に関する知識					
③ 業務の形態: 水産学科の生徒たちに対して, 各種漁具の特徴, 使用法及び適切な漁法についての理論と実習を行なう。 航海術, 海洋学, 魚類生態・生理についても現在教えられる教師がおらず 助言・指導を期待されている					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は高校生レベルの生徒 カウンターパートは特におらず 現地漁師が時々手伝ってくれる程度					
⑤ 現地で利用できる機材: 各種漁具, 小型ボート2隻, やや大めのボート1隻					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本国で唯一の水産学科(高校レベル)であるが 教師陣が不足 技術も知識もほとんどないため, 当初の目的からは ほとんどの授業内容を水産部門に世界をリードする日本の技術援助 隊員派遣への期待は大きい					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒, 漁具漁法に精通(していること) 水産関係の学科(部)卒が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成} 2年 8月 13日

調査者氏名 伊藤 淳雄
大野 政義

41390106

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG.	(現地公用語) Fishing Gear Technology (日本語) 漁具漁法(181)	新規 (交替)	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	1992年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Fisheries & Marine Resources (日本語): 漁業資源省					
② 隊員勤務先名称: National Fisheries College 日本語名称(国立水産大学) 所在地: Kopkop, New Ireland Province 主要都市(Koror)から4キロ					
③ 事業規模及び内容: 2年制大学で、学生は、各学年約30名前後。 専科は専門7科目、一般教養4科目からなり、白人スタッフ3名を含む28名のスタッフが働いている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: レクチャーラー					
② 技術の範囲: 漁具漁法全般における基礎から実習まで					
③ 業務の形態: 週3時限の講義と12時限の実習。(1時限は40分) 受け持ち生は1年生。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Grade 10の学生(高校卒業程度) を対象とする講義					
⑤ 現地で利用できる機材: 一般的な漁具及び船、カヌー。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
同大学の漁具漁法隊員派遣は、大学側より高く評価されており、現在派遣の隊員は、任期を1年延長して活動が続き、今後の期待は、いっそう高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 漁業実習の経験、魚種の同定。 ○大学水産学部卒業					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^職 2年 9月 13日

調査者氏名 大野 政義

41390107

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
P.N.G	(現地公用語) Fishing Gear Technology (日本語) 漁具漁法(181)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	91年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Fisheries & Marine Resources (日本語): 漁業 海洋資源省					
② 隊員勤務先名称: キコリ地区協議会, 日本語名称() 所在地: ガルフ州 キコリ地区 主要都市(ポートエルク)から 230キロ					
③ 事業規模及び内容: 現在日本が無償資金協力により、ガルフ州浅海漁業開発計画が実施される事により、地域住民の漁業改善を旨としている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 指導員 (Instructor)					
② 技術の範囲: 浅海漁業開発の一環として、キコリ地区の漁民に対する漁業指導。					
③ 業務の形態: キコリ地区を中心に、浅海漁業開発の協議会を中心とした、村民への指導。および漁具管理指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高卒、16才~28才					
⑥ 現地で利用できる機材: 製氷機 (JICA無償機材) 冷蔵庫 漁具一式、カヌー、船外機					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本の無償資金援助で支援されているプロジェクトであり、キコリ地区での水産業の活性化への支援に寄与の期待は非常に大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水産学部 大卒以上 2-3年 経験					
※ 事務局記入					

203

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 2年3月14日

調査者氏名 中村正明

42590001

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Y07-諸島	(現地公用語) Fishing master	新規	(男) / 人	3年3月	
	(日本語) 漁具漁法 181	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <u>Western Provincial Government</u>					
(日本語): <u>ウエストタン州政府</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>Gizo Fisheries Centre</u> 日本語名称(ギゾ/水産センター)					
所在地: <u>ギゾ, ウェスタン州</u> 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: <u>州内漁業者に対するサービス(水産物の買上げ, 氷の販売, 漁業訓練の実施)を通じて漁業の普及, 自給型漁業から換金型漁業への育成指導等を実施している。</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>水産センター(冷凍庫2基, 冷蔵庫1基, 製氷機1基, トレーシングセンター, 7-737770) 小型運搬車5台, カヌー4隻, 船外機。</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>Extension Advisor</u>					
② 技術の範囲: <u>沿岸釣り漁業(特に一本釣り, 立網) 魚獲物の処理。</u>					
③ 業務の形態: <u>前任隊員の業務を引き継ぐ。底魚を中心とした沿岸漁業開発に必要な調査, 実験, 輸送の可能性の検討, 流通の改善, 漁業者の啓蒙, 組織化等の業務を担当し, 州政府に対して必要な助言を行う。</u>					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: <u>州内の漁業者及びスタッフ</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>必要のものを用意する。</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>CUSO 1名</u>					
⑦ 使用する言語: <u>ヒンディー語 英語</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>当国において地域開発と自国長で進むには農業と漁業の発展が必要であり, 当国政府が先行している漁業協力も当国の志向が高く今後とも充実して行く必要がある。特に隊員による沿岸漁業開発計画の作成等により, 時間と必要としている。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
<u>水産系高校卒業</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 7月 1日

調査者氏名 青麻 美奈子
渡辺 督郎

42590101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ソロモン諸島	(現地公用語) Fishing gear & Methods (日本語) 181 漁具漁法	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	3年4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Fisheries Division, Ministry of Natural Resources (日本語): 天然資源省水産局					
② 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称(水産局)					
所在地: Honiara 主要都市(ホニアラ)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 当面の天然資源の開発及びその有効利用を管理する省で、水産局、地質局、森林局からなり、水産局は水産行政を担当する。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 2階建ての新築オース。1988年8月天然資源省のオースが移転した。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Master Fisherman					
② 技術の範囲: 沿岸漁業技術(特に底曳網、立網、立あみ、一本釣り等)の指導 水産に関する一般的知識					
③ 業務の形態: 底曳資源調査、水産局職員に付する技術指導及び漁民の漁獲物の集出荷の運営を経済隊員(ホニアラ水産局勤務)と共に行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Senior Fisheries Officer					
⑤ 現地で利用できる機材: パソカルコンピュータ、冷蔵庫、製氷機、カー、船外機 講義室、事務所					
⑥ 第3国人等の配置状況: EEC(英国人組織団体)1名, JICA 1名, OFCF数名(通常はAuki)					
⑦ 使用する言語: 英語, ヒンジン					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 水産業に関する運営はなされているものの、地方開発はまだまだ遅れているのが現状である。水産局の中核として地方の水産局隊員との連絡を密にし、地方開発に伴う計画、立案を行ない、水産行政を充実させることが最も期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水産高校卒業以上 底釣りの技術を要す					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

00/90112
00188116

記入 ^{平成} 2年 9月 12日
調査者氏名 池島 睦子

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Bangladesh	(現地公用語) Fish Culture	新規	←→ 人	3年 7月	
	(日本語) 182 養殖	交替	←→ 人 (男女不問) / 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Government, Rural Development & Cooperatives
(日本語): 地方自治・農村開発・協同組合省
- ② 隊員勤務先名称: Bangladesh Rural Development Board 日本語名称 (農村開発局)
所在地: Rajshahi 主要都市 (ラジシャヒ) 市内 10
- ③ 事業規模及び内容: 農村開発局でラジシャヒ県、マジンガジラ県、パティヤ県で1983年よりADB (アジア開発銀行)、IFAD (国際農業開発基金) の資金援助により NWRDP (水産部農村開発計画) が実施されている。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務所、倉庫、集会所

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 郡事務所 副所長 (ARDD) と同等
- ② 技術の範囲: インド鯉、中国鯉の粗放的施肥養殖、人工採卵技術を含む。
淡水対策としての網生養殖。
- ③ 業務の形態: 組合員に対して淡水魚養殖のトレーニングを行う (毎週1回郡中央協同組合で組合のマネージャーに対して行う。) 池の所有者に対する養殖の巡回指導も行う。水産局の孵化場や郡普及事務所と連絡を取りながら養殖の普及を通して地域開発を行う。
B.R.D.B. のローンを利用して無産組合 (BSS) による淡水魚養殖等も必要に応じて企画し指導を行う。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は農村に住む組合員。カウンターパートは B.R.D.B. の職員で大半は事務の仕事が主。水産局の人は大半が大学で水産の専門の人である。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 農村開発局とつながっている機材は少ない。必要に応じて郡中央協同組合又は無産組合に建設したり、買いとらえることとなる。池は農村部のリンクでもある。
網生養殖の材料は現地購入が可能である。
- ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し
- ⑦ 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大小河川や湖沼の多い当国にとって魚は重要なタンパク源として古くから利用されてきたが、人口増加により年々需要が伸びるが生産がおいつかない現状がある。池を有効利用した淡水魚養殖により優良タンパク源の食糧増産と地域開発が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

人工採卵ができる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 9月 12日

調査者氏名 池島 睦子

00190113
~~00188117~~

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture	新規 交替	(男) 人	〇年 〇月	
	(日本語) 182 養殖		(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Government Rural Development & Cooperatives
(日本語): 地方自治・農村開発・協同組合省
- ② 隊員勤務先名称: Bangladesh Rural Development Board 日本語名称 (農村開発局)
所在地: Natok 主要都市 (コックスバザール) から 45キロ
- ③ 事業規模及び内容: 農村開発局でバングラデシュ、フィジー、ハイチで1983年にADB (アジア開発銀行)、IFAD (国際農業開発基金) の資金援助により NWRDP (北西部農村開発計画) が実施されている。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務所、倉庫、集魚場、7-7ショップ、農場。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 郡事務所副所長 (ARDO) と同等。
- ② 技術の範囲: インド鯉、中国鯉の粗飼料施肥養殖、人工採卵技術を含む。
淡水対策としての網生養殖
- ③ 業務の形態: 組合員に対して淡水魚養殖のトレーニングを行う。(毎週一回郡中央協同組合で組合のマネージャーに対して行う) 池の所有者に対して養殖の巡回指導を行う。水産局の孵化場や郡農事事務所と連絡を取り、養殖の普及を通して地域開発を行う。
ローンを利用した魚産組合 (BSS) による淡水魚養殖等も必要に応じて企画し指導を行う。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は農村に住む組合員、カウンターパートは B.R.D. の職員で大学但し、事務の仕事が主。水産局の人達は大学で水産の専門の人である。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 農村開発局にとりあっている機材は何もない。必要に応じて郡中央協同組合が魚産組合に建設したり、買ってもらったりする。池中農村部のリンクでも淡水魚の網生養殖の材料は現地購入が可能である。
- ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。
- ⑦ 使用する言語: バングラデシュ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大小河川と湖沼の多い当国にとって魚は重要なタンパク源として古くから利用されてきたが、人口増加に伴って需要が伸びながらも生産が追い付かない現状にある。池を有効利用した淡水魚養殖により優良タンパク源の食料増産と、地域開発が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

人工採卵ができる。

※ 事務局記入

208

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 2 年 3 月 16 日
記入 昭和

調査者氏名 堀越仁志

01390011

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 養殖	新規	(男) 人	'91.年 3 月	
	(日本語) 182 養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 湖北省科学技術委員会					
(日本語):					
② 隊員勤務先名称: 罗田县三里畝地熱開発公司 日本語名称(羅田县三里畝地熱開発社)					
所在地: 湖北省羅田县三里畝鎮 主要都市(武漢)から160キロ					
③ 事業規模及び内容: 地熱を利用する為 1984年に会社が設立され、現在迄に21本の井戸が掘られ平均63℃の温泉が出ています。この温泉を利用して1986年よりスワポンの養殖がおこなわれており、地熱利用の開発計画は国の星火計画の内の一つであり温水を利用した総合開発が計画されています。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在は2畝の敷地に、招待所(宿泊と浴場)、24面の水槽と池、孵卵場、があり、水温自動調節管理棟とビニールハウスを建設中です。(スワポン・ヒナシビ)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖技術者					
② 技術の範囲: スワポンの養殖、特に餌と病気(日本に比べ餌効率が低く成長が遅いことと、死亡率の高い病気が発生することが対策がわかっていない) (病気で首や腹が赤くなる、死ぬもの)					
③ 業務の形態: 三里畝地熱開発管理処にあり、池と水槽を利用し、スワポン担当の9人の職員と一緒にスワポンの養殖をおこなう。特に餌効率の向上と病気対策の指導が求められている。なお当該養殖場は武漢にある華中農業大学の修士学生と中国科学院の修士が来て①孵化②人工飼料③生態条件等の研究をおこなっているが、餌と病気について良い指導が出来なため隊員と要請したとのこと。隊員は三里畝での仕事が軌道に乗ったら、当地から46kmはなれている葉山県で地熱を利用した総合開発計画があり養殖もおこなっている。そこで指導してもらいたい。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは20代の専門学校卒(養殖) 対象はスワポン養殖担当者9人(3人が技術者で他は労働者)					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在機材と言えものは何もなく、サンプルを華中大学まで持って行って測定や分析をおこなっている。利用出来るのは水槽と池、それに温水。餌としては当地では養蚕が盛んな為蛹が有り、湖沼が多いので淡水魚二枚貝が使われている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 中国語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地熱(温泉)を利用した総合開発計画の1つとして養殖、特にスワポンの養殖が1986年よりおこなわれているが餌料効率が悪く成長が遅いことと病気が発生した場合死亡率が高いことが問題となっている。隊員の活躍により、餌料効率を高め、生長を早く、病気対策が確立して安定した生産が望まれている。国の星火計画の1つでも有り、当国の期待は大である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
(大学(水産)卒以上) スワポン養殖に関する経験1年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 2 年 1 月 30 日

調査者氏名 伊藤 秀行
横川 次寛

01990001

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
インドネシア共和国	BILOGI PERIKANAN 182 水産養殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	2年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Pusat Penelitian Dan Pengembangan Perikanan (日本語): 農業省 農業開発局 中央水産研究所					
② 隊員勤務先名称: Bejenegara 水産研究所 日本語名称() 所在地: Bejenegara, Serang, Jawa Barat 主要都市(ジャカルタ)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: 全職員数48名、研究員14名内 PhD 1名、MSc 2名。 主に海産魚類の種苗生産及び養成のための技術開発。現在日本から、トク、アライ類等についての基礎研究が進められている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 74-49-計画による機械提供があり、一般研究に必要設備はほぼ揃っている。タリ数は総水量が多少不足。その他資料参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員					
② 技術の範囲: 海産魚類の種苗生産、中間育成、網生装置養殖(水中の栄養学及び病理学的知識も必要)及び沿岸水域の生態学的調査。					
③ 業務の形態: 海産魚類の種苗生産技術開発を主体に、それに関連する親魚環境調査、生質による親魚養成、種苗生産、初期飼料生産、中間育成水質管理等の技術開発のための基礎研究。 当研究所は、インドネシア海産魚類養殖研究の中枢的機能を果たすことが期待されており、現地に適応した技術の開発が目的である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 1側カウンターパートの技術水準は特別高い。27~30歳の大学水産学、海洋学、生物学卒業。					
⑤ 現地で利用できる機材: 帯約10日分程度の機材があるが、日本の10年前の研究所需程度の機材は利用可能。現地に適応したものを創り出す工夫が必要。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: インドネシア語。(但し研究所内には英語が通用し、共同用語も理解が容易)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当研究所では過去に74年のJICAとの業務実績があり、現在は20年間の74-49-計画が進められている。特に多くの水産技術者が育っているが、1側は現地に適応した技術開発、特に沿岸漁民に普及させる技術を望んでおり、74-49-計画後も継続的に日本人による技術指導を望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 業務経験3年、語学免許 水産学専修					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 1 日

調査者氏名 古賀正孝

03/88/6

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サバ)	(現地公用語) Marine Plankton Biology (日本語) 181. 魚具漁法(浮遊生物調査)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63年12月	
(1) 配属先 <u>養殖</u>					
① 配属先名称(現地公用語): <u>Jabatan Perikanan, Bahagian "Aquaculture & Research"</u> (日本語): <u>サバ州水産部養殖部研究課</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>Pusat Penyelidikan Perikanan Likas</u> 日本語名称(リカス水産研究センター) 所在地: <u>P.P.R.L., 89400 Likas, Kota Kinabalu, Sabah</u> 主要都市(KK市内)から <u>4</u> キロ					
③ 事業規模及び内容: <u>リカス水産研究センターには、調査部門、研究部門、増殖(種苗)部門があり、職員30名が勤務している。付属図書室、標本室、実験棟、化学実験室、水産発生実験場が完備されている。</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>別途</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>水産研究員</u>					
② 技術の範囲: <u>プランクトンの分類 と 魚類標本分類</u>					
③ 業務の形態: <u>主に赤潮生物の分類と研究、他にプランクトンの分類と研究、魚類標本整理を行う。(現在は人間にとって有害なプランクトンの調査しか行っていない)</u> <u>○ サバ州各地から集められたプランクトンの分類とサンプリング</u> <u>○ " 魚類の分類</u> <u>特に魚具類の毒性調査(赤潮におよ) 各所のプランクトン類の消長調査、現在これに集められた魚類の標本を系統下で分類する</u>					
④ 対象者 及び の技術水準、学歴及び年齢: <u>Mr. Ting (A.F.D.) 40才、プランクトン学専攻</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>業務に必要な機材初他完備されている。</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>V.S.O.(イギリスボツワナ) 1988年4月期配属される。(プランクトン培養)</u>					
⑦ 使用する言語: <u>マレーシア語</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>サバ州では毎年赤潮由来の魚貝類を人間が食べて中毒ないし死亡する事例が毎年あり、水産部側から魚貝類の安全又は危険のニュースを提供しているが、現在の調査はごく限られた地域で行われていない。又毒性調査は行いが赤潮生物の調査は、人材不足のため、充分には行われていない。今後益を増加すると思われる赤潮被害調査をするため、スタッフの指導と研究を行うことを要望されている。又魚類標本の系統下で分類を要望している。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で明くこと): <u>大学卒でプランクトン(特に赤潮生物)を専攻した者</u> <u>できれば経験者</u>					
※ 事務局記入 <u>211</u>					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 1 日

調査者氏名 古賀 正孝

03/28/08

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
マレーシア (サバ)	(現地公用語) Fish Quarantine & Disease (日本語) 182. 養殖(魚類検査魚病)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Jabatan Perikanan, Bahagian "Acuaculture & Research"</i> (日本語): サバ州水産部 養殖・研究課					
② 隊員勤務先名称: <i>Pusat Penyelidikan Perikanan Likas</i> 日本語名称(リカス水産研究センター) 所在地: <i>P.R.P.L., 89400 Likas, Kota Kinabalu, Sabah</i> 主要都市(KK市内)から 4 キロ					
③ 事業規模及び内容: リカス水産研究センターは、サバ州水産部の調査研究部門の主場である。今後業務の拡充に資する、魚類検査セクションを設立する。魚類の検査、罹病魚からの菌分離、感染実験を行う。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産研究員					
② 技術の範囲: 微生物の知識が必要 検査、菌分離、感染実験					
③ 業務の形態: サバ州水産部は、水産物、鑑賞用魚類の輸出入に伴う検査の必要に応じ、検査及び魚病のセクションを設立する。業務は、輸出入に伴う魚貝類(主に淡水)の検査と、魚病(サバ州各地の養殖業者の養殖池が送られてくる)の診断・治療法と担当者と共にやり、若いスタッフに仕事を伝える。					
④ 対象者及びカウターパートの技術水準、学歴及び年齢: Mr. Ting (AFO) 40才で大学卒					
⑤ 現地で利用できる機材: 水槽、検査機材、顕微鏡、等					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: マレーシア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 動物、植物の検査体制に比べ、水産の検査は現在のところ無いに等しい。今後益々国際化していく国にとって検査は不可欠なものになるポストである。現在サバ州水産部では将来展望として検査並びに魚病診断を早急に行うべく準備している。カウターパートと共にスタッフの教育、指導及び養殖業者へのアドバイスが期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○生物学科系大学卒 ○微生物並びに(魚病)の知識が必要					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{昭和} 2年 8月 22日

調査者氏名 間宮章一
木川若史

04090009

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 1人	3年4月	
	(日本語) 養殖(種苗生産) (182)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Fisheries Development Department

(日本語): 農業省 水産開発局

② 隊員勤務先名称: Trisuli Fisheries Research Centre 日本語名称(トリズリ水産開発センター)

所在地: バグマティ県 スワコット郡 トリスリ 主要都市(カトマンス)から 80 キロ

③ 事業規模及び内容: 在来魚養殖化研究 鯉の種苗生産配布(50万匹) 食用鯉(2.5t)生産

アヒル生産、養豚

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、実験棟、孵化棟、カリー、宿舎、止水池4面(0.1~0.4ha)

流水池26面(0.03~0.1ha) ナザリ

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: JOCVミニプログラムメンバー

② 技術の範囲: 流水魚、冷水魚等の養殖に関する知識

③ 業務の形態: 他のJOVCVメンバー及びネパール人カウンターパートとともに、種苗生産技術の確立及び大量生産に関するノウハウの確立を主眼とする。また最終目標であった養殖法の一般普及を目指した地域普及指導を行なう。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大卒 30才

鯉の種苗生産、止水養魚に関する知識

⑤ 現地で利用できる機材: 定温乾燥器、通風定温乾燥器、マッフル炉、ケルダール分解装置、ケルダール蒸留装置、ソックスレー脂肪抽出器、粗繊維定量装置、分光光度計、(D)DW製造装置、冷蔵庫、小型遠心分離器、電気式フォーターパス、その他実験用具、試験薬等

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語:

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: このプログラムは1992年までの5年計画であり、

すでに仕上げの段階に入っており、ネパール側から最終成果を期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

養魚飼育経験2年以上

水産関係大卒

※ 事務局記入

213

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 8月 22日

調査者氏名 佐々木秀輝
木川浩史

040900/0

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 養殖(魚餌) (182)	交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	3年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Fisheries Development Department (日本語): 農業省 水産開発局					
② 隊員勤務先名称: Trisuli Fisheries Research Centre 日本語名称(トリズリ水産開発センター) 所在地: バグマティ州 スワヤム郡 トリスリ 主要都市(カトマンズ)から80キロ					
③ 事業規模及び内容: 在来魚養殖化研究, 鯉の種苗生産配布(50万匹) 食用鯉(2.5t)生産 アヒルを産(8000羽) アヒル(800kg) 豚(1.2t)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所, 実験棟, 孵化棟, ガレージ, 宿舎, 止水池4面(0.1~0.9ha) 流水池26面(0.03~0.1ha) ナーサリー					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: JOCVミニプログラムのメンバー					
② 技術の範囲: 飼料分析, 栄養試験, 飼料設計, 製造 及び水産に関する知識					
③ 業務の形態: ネパールの在来魚であるアサラ・カシ・カールの種苗生産, 養殖化のための 栄養試験を行ない, 7"をたけ当国で入手する原料を用いて, 飼料設計・製造を行ない, それに伴った低コスト・高タンパクの飼料を開発していく。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 一般飼料分析及び基本的な水質分析 が出来る, 大卒34才					
⑤ 現地で利用できる機材: 定温乾燥器, 通風定温乾燥器, マッフル炉, ケルダール分解装置 ケルダール蒸留装置, ヨックス-脂肪抽出器, 粗繊維定量装置, 分光光度計, (D)DW製造装置 冷蔵庫, 小型遠心分離器, 電気式オーブン, その他実験用具, 試験薬等					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ミニプログラム成功のために, この業務は重要な役割を 果たしている。また当センター内の研究所はネパール国内でも屈指のものであり, 研究の成果を ネパール側も期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 一般飼料分析経験者(○) 栄養試験経験者(○) 飼料製造に関する知識					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

04090011

記入 平成 2 年 3 月 5 日

調査者氏名 向川原 史子
山田 晃弘

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Fresh Water Fish Culture (日本語) 淡水水養殖	新規 (交 替)	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	2 年 12 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture Fisheries Development Department (日本語): 農林省 水産開発局					
② 隊員勤務先名称: Pokhara Fisheries Development Centre 本語名称(ポカラ水産開発センター) 所在地: カトマンズ県ポカラ市 11416 主要都市(市内)から 4 キロ					
③ 事業規模及び内容: 707湖(50ha)、バグナス湖(300ha)、ウリウ湖(117ha)の3湖を中心に 中国産の網生養殖(政府年間生産9.2t、民間生産18t)、近隣での池中養殖の指導 及び種苗供給が主要業務。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 種苗養成用池6面(500m ²)。JOLV支援による中国産網生 施設。上記3湖水に網生養殖57面(約2900m ²)。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 3rd class officer, 士級技術者					
② 技術の範囲: 在来産科魚類の種苗生産、放流。種、山に関連した業務(育成、飼料、生態等)。					
③ 業務の形態: センターのスタッフの一員として、主に在来産科魚種部門を担当。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 18才~50才。無学歴者から大学卒まで 様々であるが経験者が多く有能。特に士級技術者のレベルが高い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 一通り揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 山田晃弘 隊員、平成3年3月に活動。					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 7代に渡るJOLVによる網生養殖は一応一区域の 支配は在来産科魚類の種苗生産にかかっている。種、山に平行して養殖 不漁魚(特にC. Camp. B. 在来産)の飼料に関しても力を入れており、山に 対して力を発揮する隊員を強く要望している。 * JOLV活動は1971年8月より。山田隊員は9代目。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学卒(水産養殖学専攻))。淡水養殖における幅広い知識・技術。 特に魚類の栄養及び魚類生物学に詳しい者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 8 月 31 日

調査者氏名 山本 昭夫

88007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PHILIPPINES	(現地公用語) PRAWN CULTURE (日本語) エビ 養殖 (エビ)	新規 XXX名	(男) 1人 (女) 人 (男女合計) 人	63年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): DEPARTMENT OF AGRICULTURE (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: DAF/BFAR REGION-7 OFFICE 所在地: CEBU CITY 日本語名称(農業食糧省水産局) 主要都市(CEBU)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 全国 13ヶ所ある地域事務所のうち、セブ島を中心とし、東ネグロス、 シホル島、ボホル島と連携して水産開発に努力している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ボホル島に近い水産園地の写真を別添する。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産開発教官					
② 技術の範囲: エビ養殖を中心とした、泥ガキ(アリアゴ)、ミノウヰシ(バダス)等の稀水 養殖技術。					
③ 業務の形態: Region-7 事務所の中に、いくつかの養殖場があり、その中の1つに 常駐して地域の水産技術開発に協力をしている。主として、現在高値の 高いエビ生産増産の大きな目標と定めている。種エビの生産、集約 販売及び、園地での育苗、増産、そして市場開発への一貫した(殖産) 体系の確立を求めている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 有り。					
⑤ 現地で利用できる機材: 簡単は実験器具					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: 英語 セブアノ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Region-7 地域は、島が多く海水産物資源に 恵まれている。したがって、魚価は安いと見え、漁民の収入は高くない。 (5年以内) エビの輸出がさかんになり、その価格も高いため、現金収入 を得るために良い産業と見られてきた。水産局では、エビ養殖技術開発 に期待を寄せている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産科卒 (経験 3年以上) エビ養殖についての技術・知識は必要					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}~~昭和~~ 元年 3 月 15 日
 調査者氏名 佐々木 聡

04689005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Aquaculture (日本語) 養殖 (182)	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月 可及的速効	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Northern Iloilo Polytechnic State College (日本語): 北イロイロ工業大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)					
所在地: Iloilo 州, Estancia 町 主要都市 (イロイロ) から 110 キロ					
③ 事業規模及び内容: 学生数 3000人 (高校部 2400人, 大学部 600人) 漁業科の他 自動車科, 電気科, 和音科等 8 学科から成る。漁業科の内養殖課程は学生 60人。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 別添写真参照。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖アドバイザー					
② 技術の範囲: 「耳貝の稚貝生産, Propagation に関する技術, 養殖に関する一般知識。 (Abalon)					
③ 業務の形態: 養殖科の 6 人のインストラクターと共に, 耳貝の稚貝生産にあたる。現在はリサーチの段階であり, これを Propagation に結びつける Project の実施。 別添プロジェクト・プロポーザル参照。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: インストラクターは高校部に 3 人, 大学部に 3 人いるが, このうちカウンターパートになるのは, 海藻研究で修士号を持つ, 35才。					
⑤ 現地で利用できる機材: 別添リスト, 写真参照。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語, イロイロ語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 耳貝は育成できる海域が限られている貝で, Estancia はその育成に適している。現在は天然物は 1kg 35ペソで買いられている。月 4 才の需要があるが, 天然物だけでは対応しきれず, 保護の意味も含めて稚貝の生産に取り組むとしている。市場性の高いことから, 地元の期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 耳貝が一番近いと思われる「とじびし」の稚貝生産の知識を持っている事。 あるいは, 貝の養殖を学んだ者に対して, 「とじびし」の技術研修を実施する。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 8月 6日
調査者氏名

倉富健治

(13190101)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Pisciculture (日本語) (182) 養殖	新規 交代	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 3年 8月 平成 3年 1次隊	
(1) 配属先 (元/2, 村田忠)					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministère de l'Agriculture et de la Réforme Agraire (日本語) : 農業農地改革省					
②隊員勤務先名称 : Centre Recherche en Hydrobiologie et Pisciculture à Azrou 所在地 : アズル 日本語名称 (アズル水生物養殖研究センター) 主要都市 (メクネス) から70 キロ					
③事業規模及び内容 : 同センターは、モロッコ最大 (最近までは唯一) の淡水養殖場である。1924年センター開設以来、主に、ブラウンマス、ニジマス、カワカマス、ニシン、鯉等の養殖のための研究を行っている機関であるが、1982年新たに研究室が完成し、実験用機材が導入された。					
④設備内容 : 淡水養殖研究のための実験室、実験機材、実験水槽等がある。 (写真添付が望ましい)					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : 淡水養殖技師 (Ingénieur en Pisciculture)					
②技術の範囲 : マス類の一般的養殖及び産卵期に於ける、親魚の選別、採卵、検卵、また水質検査人工プランクトンの開発等。					
③業務の形態 : 同センターの職員の1人として、主にマス類の稚魚の飼育、人工プランクトンの開発及び改良、魚の病気に対する予防、産卵期の採卵、検卵等の業務に従事する。					
④対象者及びカウンターパート : 大学卒である程度の知識を持った淡水養殖技師1名、その他実務経験のある職員が数名いる。					
⑤現地で利用できる機材 : 水質検査用機材を始め必要最低限の機材は揃っている					
⑥第3国人等の配置 : いない					
⑦使用する言語 : フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待					
1973年~1974年にかけて、協力隊員が派遣されていてことのある養殖研究センターである。その後隊員の派遣はないが、エビや目の養殖を専門とするモロッコ人が、JICAの研修員として日本へ行くこともあり、日本の養殖技術への関心は高まっている。優秀な養殖技師の不足を補い、かつモロッコ人技師の技術向上への期待から引き続き協力隊員の派遣を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)					
水産系大学または水産高校卒以上で、養殖業務の実務経験が3年以上 マス類の養殖経験があることが望ましい。年齢は、25才以上。					
※事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~日~~ 2年 8月 9日

調査者氏名

松尾 邦義

(14690105)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア	(現地公用語) Fish Culture (日本語) (182) 養殖	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月 可及的速やか	
(1) 配属先 (こい養殖) of Fisheries					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform, General Establishment (日本語): 農業省水産局					
② 隊員勤務先名称: 水産局 サウラ (Thaura) 支所 日本語名称 () 所在地: サウラ街 主要都市 (アレク) から東 150 キロ					
③ 事業規模及び内容: アサド湖 (640 km ²) における網生養鯉。85年120ト、86年100ト、87年80ト、88年50ト、89年30トと年々生産量が減少してゆく。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 旧養殖場: 西和型生籠 (4x3x3.5m) 100基, 日本型生籠 (9x9x4.5m) 14基 新養殖場: 日本型生籠 (9x9x4.5m) 56基。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 網生養鯉の技術指導者 (単なるワーカーではなく)。					
② 技術の範囲: 網生養鯉の技術全般。鯉の種苗生産。					
③ 業務の形態: 養殖現場に2人1泊し技術者としての生産活動に従事しながら、適正技術の移転を図る。また、技術レベル、講習会等を通じて同僚への指導、提案を行う、公用艇のフレックシブルをかりながら、生産量の向上を目指す。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 当国には水産系の大学が無く、技術者が多くは農林水産省出身者である。年齢 25~50才、養殖経験 2~12年、西和、Y陣の経験者各一人					
⑤ 現地で利用できる機材: 基本的なもの揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 1976~80年まで、西和7名、Y陣4名が入った。					
⑦ 使用する言語: アラビア語、英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在水産局が最も力を入れているのがこのサウラ支所の網生養鯉である。他の全ての支所(養殖工場)が慢性の水不足に悩まされているからである。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
○水産系大学 (水産学部) 卒					
○網生養鯉 (実践 理論) の経験 5年以上、鯉の種苗生産、読書力 (養鯉)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 年 2 月 8 日

調査者氏名 和泉 守

(221-87-019)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) <u>Fish Culture</u>	新規	(男) 1 人	91 年 7 月	
	(日本語) <u>182 養 殖</u>	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配 属 先					
① 配属先名称 (現地公用語): <u>Ministry of Agriculture, Fishery Resources Development</u> (日本語): <u>農業省 漁業資源開発局 Dep.</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>Sabeta Fish Culture and Research Institute</u> 日本語名称 (サベタ養殖研究所) 所在地: <u>サベタ</u> 主要都市 (アディス) から <u>25</u> キロ					
③ 事業規模及び内容: <u>テラピア、カープなどの淡水魚の人工孵化による稚魚の生産、及び普及が主たる業務である。</u>					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): <u>生簀、ラボラトリー、倉庫、事務所</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>シニアアドバイザー</u>					
② 技術の範囲: <u>人工孵化、稚魚の生産及び養殖に対する中立的知識、技術 (養魚場運営、水質検査を含む)</u>					
③ 業務の形態: <u>隊員はカウンターパートと共に養魚場の運営、管理に当り、日常業務を通じ、指導を行う。</u> <u>又、現在養殖されているのは、テラピア、カープの類であり、新種の養魚開発も重要な業務となる。</u> <u>その他、養殖の普及活動のため、各地に巡回することもある。</u>					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>経験的には豊富、但し技術力は然程高く無い。大学卒、40才代</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>顕微鏡、水質分析器、分光光度計</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>本局にソ連人女性 (シニア格)</u>					
⑦ 使用する言語: <u>英語、アムハラ語</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>1977年協力隊の全面援助によって建設され、技術移転が行われていたが、其後長期に亘り途絶えている間に、向題が累積していった。</u> <u>当国は、湖も多く、又、国民の食自源を確保するため、養殖に対する取り組みが積極化しており、期待されること大である。</u>					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): <u>短大卒以上 経験3年以上</u>					
220					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}~~昭和~~ 元年 3月 14日

調査者氏名 江畑 義徳

(20589001)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) FISH CULTURE	新規	(男) 1人	1990年4月	
	(日本語) 養殖 182	(交替)	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): FISHERIES DEPARTMENT, MINISTRY OF REGIONAL DEVELOPMENT (日本語): 地域開発省, 水産局					
② 隊員勤務先名称: FISHERIES DEPARTMENT KISUMU DISTRICT (現地公用語名称(水産局キスム事務所)) 所在地: キスム市内 主要都市(キスム)からのキロ					
③ 事業規模及び内容: 職員数は120名で, 主な業務内容は Lake Fisheries, Fish Farming, Fish Processing and Quality Control and Gear Technology である。その District は さらに 5つの Division を管轄している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 養殖用の池が7面あるがポンプ等の設備が不備なため 1年以上放置されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fish Farming 担当で, カウンターパートとの協同責任者である。					
② 技術の範囲: 養殖全般とテラピアに関する知識。					
③ 業務の形態: 配属先事務所スタッフと共に各農家の要望に応じて, 池の造作, 稚魚の配送, 収穫の手伝い等を行っている。現在の計画は農家の要望と合わせて集中的に指導してモデル池を造る事で, 今後残っている7面の池については守を替える計画は無い。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 重機1台(ランドローバー): 使用許可が必要であるが, あり利用できるようにのが 現状である。Oxygen Cylinder 1本: 揚水ポンプが壊れたため使用できず。個人的には 胴長 3本, バケツ, コロガシ, 測量機械, セットがある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 配属先事務所では英語, 農家はルオー語である。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 最近ビクトリア湖でのテラピアの漁獲が減少しているため, テラピア養殖は今後重要な産業の1つになる可能性を持っている。この現状を打開するため 実際的な指導ができる人材を多く, 技術的レベルも極めて高い。ケニア側としては MONOCULTURE と CATFISH を用いた POLYCULTURE を中心にテラピア養殖を目指している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 自動二輪免許。 養殖全般に関する知識とテラピアに関するより深い知識があれば資格は問わない。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和平成 2 年 2 月 23 日

調査者氏名 マラウイ
事務所長

243-90-006

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ共和国	(現地公用語) Fish Farming (日本語) 182・養殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 0人 (男女不問) 0人	平成 2年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語) : Ministry Of Forestry And National Resources (日本語) : 森林天然資源省					
② 隊員勤務先名称 : Domasi Experimental Fish Farm 日本語名称(養殖試験場) 所在地 : P.O.Box 44, Domasi 主要都市(ブランタイヤ)から100キロ					
③ 事業規模及び内容 : 職員数12名、業務内容は、ドマシ地区、92の農家に人工池を造り、淡水魚(主にテラピア)の養殖法を指導をしている。養殖池38面を有し、マラウイ全国淡水養殖事業を統括する事業所であり、さらに現在では、マラウイ大学とリンクされた研究機関として位置付けられている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) : 事務棟、水質検査室、養殖用の池(38面)等、JICAが機材供与したハッチャリー、給餌器、水質検査器具					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位 : Extention Officer (Fisheries)					
② 技術の範囲 : 養殖全般、特に淡水魚(テラピア等)についての知識が必要、又コンピュータによる統計処理能力があれば望ましい。					
③ 業務の形態 : ドマシ地区の農家に対し、養殖についての説明をし、要望のある農家に池の造り方、稚魚の配送、育成、収穫等を指導する。又、データを基に、優秀な農家を選び出し、モデル池を作ることが当面の目標である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 専門学校卒 35才					
⑤ 現地で利用できる機材 : 距離測定器、水準測定器、実験用池、水質検査器具					
⑥ 第3国人等の配置状況 : アメリカ人1名、ジンバブエ人1名					
⑦ 使用する言語 : 英語、チェワ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : ドマシ地区では、換金作物の生産が少なく、タンパク源としての淡水魚養殖に対し期待が大きい。又、マラウイ湖でのテラピアの漁獲が減りつつあるので、今後重要な産業の1つになる可能性がある。しかし養殖に対する知識、及び技術が低く、養殖全般に対し、指導出来る人材が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) : 1・大学卒(養殖専攻) ②・養殖指導経験のある人 3・英語力(英検2級程度)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 26 年 7 月 16 日
 記入 増村

調査者氏名 梅田 文彦
 洲崎 毅浩

283 90101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 1 人	3 26 年 7 月	
	(日本語) 182 養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Department of Fisheries (日本語): 農業省 水産局					
② 隊員勤務先名称: Mwekera Fish Farm 日本語名称(メケラ養魚場) 所在地: Mwekera 主要都市(Kitwe)から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: 素掘りの養魚池でザンビア産テトラピス、鏡鯉の養殖および実験室において鏡鯉の種苗生産を行なう。また、養魚場拡大プロジェクト(実験室の新設、素掘り池をコンフリート池に改修)が始まる事になっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実験室(総トン数 80t)、養魚池(31池 約 4ha)、貯水タンク、トラクター、ランドローバー、活魚輸送車、倉庫、鶏舎等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fish Culturist					
② 技術の範囲: 鏡鯉の種苗生産、養殖が中心だが、養魚場拡大プロジェクトの為の交渉も行なう。また、養殖普及の為、近郊養魚場を巡回指導する。					
③ 業務の形態: 勤務時間は月曜～金曜 8:00 am～5:00 pm (昼休 1:00 pm～2:00 pm) で週休二日制だが産卵シーズンには土、日曜も作業する。また、不定期に養魚場拡大プロジェクトの為首都に行き交渉したり、近郊農家に行き、養殖普及指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 中、高校卒業程度 30～40才 3名、1名は日本で技術研修を済ませ、ある程度の技術はあるが他の2名に関しては不安が残る。					
⑤ 現地で利用できる機材: 実験室(1tパンライト水槽15、1t7化槽2、30Lパンライト水槽10)、エアレーションポンプ、収穫用引き網、4t活魚輸送車、水質検査機等					
⑥ 第3国人等の配置状況: FAO プロジェクト(アメリカ人、オランダ人各1名)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鏡鯉がザンビアに移植されて10年、種苗生産も実験段階から量産段階に向かい、国民のタンパク源として期待されている。しかし、まだまだ規模の面で問題があり、今後さらに種苗生産技術を確立し、養魚場の規模を拡大していかなくてはならない。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学の水産学科卒業生でコイの種苗生産の実務経験がある事。ホルモン注射による産卵誘発技術が必要。 (実務1年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 9月 7日

調査者氏名 青 山 三 郎
山 林 春 夫 (調)

31090003

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリビア	(現地公用語) Piscicultura. (日本語) (182) 養殖(淡水)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 3年 8月 現地着	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Comité Ejecutivo de La Universidad Boliviana (CEUB) (日本語): 大学連絡協議会					
② 隊員勤務先名称: Universidad Técnica del Beni 日本語名称(バニ州工科大学)					
所在地: Final Av. Universitaria s/n 主要都市(トリニタ)から 2 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同大学とCORDEBENIが行っている魚類調査の一環として、未利用水体及び長振り池での有用魚種生産が計画されており、これに伴い現地の安い流通価格に対抗しうる生産技術の開発が望まれている。(※CORDEBENI:バニ州地方開発公社)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務室, 研究室, 倉庫, (全て調査プロジェクトと合同)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 生産技術開発に携わる一研究者及び調査プロジェクトに対するアドバイザー					
② 技術の範囲: 魚類学, 生態学, 水産資源学に関する調査へのアドバイス, 有用魚種生産技術の開発試験をテフニコラと共に行う。					
③ 業務の形態: 現在同地で進行中の魚類調査プロジェクトをサポートする一方, 数名のテフニコラと共に現地の魚類の流通価格に対抗しうる養殖, 生産技術の開発をゼロからスタートさせる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 直接的カウンターパートは, 30才の水産学士。養殖等に関する知識は無いに等しい。					
⑤ 現地で利用できる機材: 養殖用の機材は皆無に等しい。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 魚類加工にイギリス, 航路測量にベルギーが入っている。					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在, 大学とCORDEBENIが資源保護を目標とした調査を行っているが, その活動の一環として今まで手付かずであったバク, タンバキー, スルビ, などの養殖, 種苗生産技術の開発に今から着手しようというキのであり それにかかる期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
(水産学部卒, 水産養殖に関する知識) なお, 生態学の知識があれば申し分ない。					
※ 事務局記入					

JV (FAX) 091号 10/17

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 2月 19日

調査者氏名: 本間 誠

3/990009

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期
コロンビア	(現地公用語) PISCICULTURA (日本語) 182. 養殖	新設 交替	() (男女不問) 1	年 月
(1) 配属先				
1. 配属先名称 (現地公用語) CORPORACION PARA LA RECONSTRUCCION Y EL DESARROLLO DEL CAUCA				
(日本語) 加カ開発公社				
2. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()				
所在地: CAM V ETAPA 2º PISO POPAYAN, CAUCA 主要都市 (ポパヤン市) から キロ				
3. 事業規模及び内容: 1983年に起きた地震で崩壊した県内各地の復興を目的に設立され、現在復興事業はほぼ終了したため、地域開発に力を入れている。職員は約50名。				
4. 設備概要: 合同庁舎内本部および2カ所の養魚場。				
(2) 隊員の業務内容				
1. 隊員の業務上の地位: 技術顧問				
2. 技術の範囲: 特にコイのホルモン調整による採卵。ほかにティラピア等の熱帯魚に関する知識があれば望ましい。				
3. 業務の形態: 養殖場で生産された稚魚(コイ、ティラピア、カチャマ)を地域農民に廉価で配布し、各農家が持っている養魚池で飼育させ、農民のタンパク摂取向上を目指しているもので、特にカガミゴイに関する採卵から育種まで一連の管理指導を行い、各農家に対する巡回指導も行う。				
4. 対象者及びカンファートの技術水準、学歴・年齢: 2名。大学生物学科卒				
5. 現地で利用できる機材: 特になし				
6. 第3国人等の配置状況: なし				
7. 使用する言語: スペイン語				
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上記の稚魚を年間約24万匹生産しているが、ホルモン調整等の管理はいつさいやって居らず自然状態で採卵しているためなかなか効率があがらず、配布する農家に対してコストダウン出来ないでいる。				
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○で囲むこと): 水産学部卒。				

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 9月 6日

調査者氏名 岩崎 恒雄
岩崎 泰昌

32290108

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コスタリカ	(現地公用語) <u>Acuacultura</u>	新規	(男) 人	<u>平成</u> 3年8月	
	(日本語) <u>182 養殖</u>	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): UNIVERSIDAD NACIONAL LABORATORIO DE ACUACULTURA

(日本語): ナショナル大学 養殖研究室

② 隊員勤務先名称: UNIVERSIDAD NACIONAL 日本語名称(ナショナル大学)

所在地: Calle 9 Ave. Central y Primera Heredia 主要都市(サンホセ)から約 30キロ

→ 事業規模及び内容: コスタリカの国立大学の1つで総合大学。その中の学生数約300名様の海洋生物学科内の養殖研究室に所属する。教授は2名その他に毎年数名の卒業論文のための学生が研究を行っている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究活動に必要な設備はほぼそろっているが、臨海実験場はない。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 研究アシスタント, 調査員

② 技術の範囲: 二枚貝類 特にアカガイ及びカキの人工種苗生産から養殖までの基礎的研究を行うこと。

③ 業務の形態: 上記の養殖研究室に所属し コスタリカでの有用二枚貝のアカガイ類、カキ類の人工種苗生産から養殖までの基礎的研究を行うとともに、学生の指導、授業の一部をうける講義を行うこと。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 学生, 種苗生産及び養殖の知識はほぼが 実際の技術はほとんどない。状態。1名は博士として教授1名。

⑤ 現地で利用できる機材: 貝類の人工種苗生産に必要な研究機材はほぼそろっている状態である。

⑥ 第3国人等の配置状況: 学生の中には他の中南米の人たちがいる。協力隊員への条件3項目

⑦ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在 養殖研究室では 1988年から5か年計画でエビ類及び二枚貝類の養殖のためのプロジェクトが行われており 貝類の分野ではコスタリカで多く消費され 工場資源も少ない(な)ているアカガイ類と新たな対象としてカキ類の養殖を行っており これらの種苗生産から養殖までの研究 指導を行なう人材を求めている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

- 二枚貝類の人工種苗生産及び養殖経験 2年から3年
- ・ 大学水産学部卒業

※ 事務局記入

226

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2 年 3 月 9 日

調査者氏名

252 28108

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ヤマイカ	(現地公用語) FISH CULTURE (日本語) F2(淡水養殖)	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不明) 1人	2 年 12 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): THE FISHERIES DIVISION, Ministry of Agriculture (日本語): 農業省水産局					
② 隊員勤務先名称: INLAND FISHERIES UNIT 日本語名称(内水養殖場) 所在地: SPANISH TOWN, ST. CATHERINE 主要都市(キングストン)から 40 キロ					
③ 事業規模及び内容: 大(0.2 x 0.2 エーカー 8 つの養魚リセット)・中・小合計 55 の池を使用し ① TRAINING ② RESEARCH ③ EXTENSION ④ FINGERLING PRODUCTION を目的とした 淡水養殖研究センターである。①のスタッフは外部より、③④のスタッフは主任後見員 3 名。 ④ 設備概要(写真添付が望ましい): ③のスタッフ 8 名で構成されている。 別添写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 同養殖場 RESEARCH 部主任補佐。					
② 技術の範囲: CHINESE CARP, TELAPIA についての養殖技術。ホリモン注射による産卵、 幼魚生産、ハッチェリ-の管理技術。淡水養殖一般に関する基礎理論・知識。					
③ 業務の形態: 勤務時間は 8:30 ~ 5:00 までであり、幼魚生産、ホリモン注射による 産卵等養殖場の管理をすると共に、RESEARCH 部のスタッフとして、当国に通じた品種の研究 調査、データ収集を中心に行なう。RESEARCH 部で、農家に対する技術指導、普及は EXTENSION 部が行なう。現在、アリュウカを導入した淡水エビの調査も行っており、 エビ養殖の知識が必要とされるに注意しなす。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 西インド大学水産学部卒業後、11 ヶ月間に 3 ヶ月の研修(養殖用飼料)を終えた 25 才。その後、2 回、F.A.O. の短期研修を受けている。					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんど設備機材は備えている。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 現在なし。過去に米国外務省が働いていた経験あり。					
⑦ 使用する言語: 英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 島国と言え、ヤマイカで消費される魚の半数以上は、米 カタ等からの輸入品であり、① 輸入を削減し外貨を貯えること ② 農民、漁民の雇増大 ③ 養殖従事者の拡大 ④ 蛋白質の供給を目的に、1988 年に打ち出された政府淡水養殖普及 計画(5 年間で現在全国で生産される 600 トン以上の淡水魚を 20,000 トン以上生産する 仲はす等)は、同養殖研究センターが中心となつて動いている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産系大学卒、ホリモン注射による産卵、幼魚生産技術 CHINESE CARP についての養殖技術と経験。(養殖実習経験 2 年)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~平成~~ 元年 9 月 6 日

調査者氏名 筒井 信弘

364-88-114

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) PICICULTURA (AGUA DULCE) (日本語) 182 養殖(淡水)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	1991年 9 月 03/1次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): SEAG (SERVICIO DE EXTENSION AGRICOLA Y GANADERIA)					
(日本語): 農牧省 農牧普及局					
② 隊員勤務先名称: SEAG G.B. CABALLERO 日本語名称(農牧普及局 G.B. が湖出張所)					
所在地: パラグアイ東 G.B. カバジェロ 主要都市(アスンシオン)から 95 キロ					
③ 事業規模及び内容: パラグアイ東シグレイ事業所管内の出張所。職員 2 名 農業全般の指導員(男性)、生産改善指導員(女性)夫婦が常駐している。同地区の淡水養殖プロジェクトは、企画庁の発案で 5 年程前に開始された。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 出張所事務所、養殖プロジェクトメンバーの養殖池約 70 個(築堤池 20m x 15m、深さ 1m ~ 1.5m)がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: SEAG G.B. カバジェロ出張所職員。					
② 技術の範囲: 淡水養殖(テラピア、鯉が中心)の飼養、繁殖指導および普及。雌雄鑑別(SEXING)。					
③ 業務の形態: SEAG 出張所を活動の中心として、同地区内およびその周辺の約 70 程度の養殖池を有する G.B. カバジェロ養殖プロジェクトの指導と農家への巡回指導および普及(ZORRILLA 地区が中心)。同地区近郊(SADUCAL, VALENZUELA)地区への普及、指導。スゴルナ移住地の日系養殖研究グループへの指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: SEAG G.B. カバジェロ出張所職員、プロジェクト参加の農家およびプロジェクト役員。スゴルナ移住地日系人。					
⑤ 現地で利用できる機材: 持たない SEAG の車輛はあるが常時使用は不可能。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: フルカ平和部隊(男性、土壌肥料)、協力隊員 2 名(家政、保健婦)。					
⑦ 使用する言語: スペイン語、ガラニ語。ガラニ語が頻りに話される。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1982~1987 年にかけて企画庁による G.B. カバジェロ開発計画が実施され、その一環として養殖プロジェクトが始められた。その後、上記開発計画は終了したが、養殖プロジェクトは継続されており、プロジェクト役員の SR. DON JUAN 等が中心となって、SEAG 職員との指導により活動が保たれている。また、アスンシオン大学農学部で養殖専門家の短期間の講習会も行われている。現在当国では、肉用牛の生産から魚類を利用した経済的、栄養					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ※養的に有利な食料の改善が行われ(定められており、期待されている。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 高校、水産学科卒業生、雄雌鑑別 </div>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2 年 3 月 9 日

調査者氏名 田 康 佳

35289001

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ジャマイカ	(現地公用語) STATISTICIAN (日本語) 林 190 農林産統計	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不明) 人	2 年 12 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): PLANNING & POLICY DIVISION, MINISTRY OF AGRICULTURE (日本語): 農業省企画政策局					
② 隊員勤務先名称: DATA BANK UNIT 日本語名称(資料保存管理課) 所在地: HOPE GARDEN, KINGSTON 主要都市(キングストン)から市内キロ					
③ 事業規模及び内容: ジャマイカ全土に及ぶ13の農業普及局から集められた各種統計データを、大型I.B.M.コンピュータ2台、端末8台を使用し、整理、マトリクス行ない総合的調査結果を各分野別に定期刊行誌、年次報告書、資料として発行、保存する農業省のブレインである。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添資料参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: データバンク農業統計学助手					
② 技術の範囲: 一般統計学、応用統計学、サンプリング手法(地域フレーム、サンプリング)調査手法の経験。					
③ 業務の形態: 企画、政策局と常に連携プレーを行ない、各種、各分野にわたる統計資料の作成、その為の調査手法、アンケート作り、サンプリング、データ収集、データ処理等をコンピュータを使用し行なう。又、各支部普及局を回わり、データの回集時に正しい調査手法により、データが集められたかどうかのチェックも並行して行なう					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: データバンク主任3人、大学農学部卒業後普及局員として4年、その後データバンク課にて統計を主に担当8年。他の2人のカウンターパートも					
⑤ 現地で利用できる機材: 除き、大学卒、約2年程度。 アンケート作成から、データ処理は全てコンピュータにて処理(I.B.M.437438)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術者の多くは、民間企業に移り、賃金の低い公的機関では適当な人材確保に悩んでいる。又、各種統計資料が古くなっており新しい調査が必要になってきている。業務処理の簡素化も含め、協力隊に技術者提供の要請が出た。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で明記すること): ○(大学卒で統計学を修めた者)、農大卒、又は農業一般の知識、パソコン操作から出来る者であり、なにより、好ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成元年 3月 15 日

調査者氏名 マラウイ事務所長
奈良輪睦幸

242-89-002

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) AGRICULTURAL STATISTICS	新規	(男) 人	元年12月	
	(日本語) 農林統計	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Min. of Agriculture (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: Karonga Agricultural Development Division 日本語名称(カロンガ農業開発局) 所在地: P.O.Box 43, Karonga 主要都市(ロンゲ)から600キロ					
③ 事業規模及び内容: 14の課を持ちマラウイ最北部の農業開発局が調査を実施する。'87年度予算は、約8千万円。 Evaluation Sectionは28名のスタッフ。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務棟 車輜					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Data Processing Officer					
② 技術の範囲: 農林統計、及びパソコン使用技術(プログラミングを含む)					
③ 業務の形態: 7:30~12:00 / 13:00~17:00 週休2日 Economistの下で大統領府統計局の指示に基づき調査、及び報告。局内への資料提供、調査済み資料の整理と管理、統計官の育成					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高卒, Field Supervisor. 専門教育は特に受けていない					
⑤ 現地で利用できる機材: パーソナルコンピュータ-HP-858, ポータブルコンピュータ-PC-1000. 農業省倉庫にB-20(メインフレーム)がセ銀援助で導入済					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: 英語 ツンブカ語					
⑧ 受入希望の背景と受入国の期待: 毎年定期的に実施されている年間農業調査(ASA)の資料作成は、国家全体の農業開発計画策定のための基礎となるべく重要な役割を担っているが、担当者の異動、及び英会話が未だ後の現地人 Economistのところで有効なコンピューター処理が出来ていない状況である。 '84年以来、隊員が配属されるも、採用された候補者が、他局へ異動し、連続性がとれず、成果が乏しい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で明記のこと):					
a. 農林統計専攻大卒 b. ベージワフ・71143の運用。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 年 9 月 10 日

調査者氏名 伊達秀行

01989103

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
インドネシア 英知国	(現地公用語) Pengolahan Tembikar (日本語) 陶磁器 201	新設 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	2年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Lembaga Ilmu Pengetahuan Indonesia (日本語): インドネシア科学院					
② 隊員勤務先名称: R&D. Center For Applied Physics 日本語名称(応用物理研究室) 所在地: Jl. Cisit, Kompleks LIPI, Bandung 主要都市()から キロ					
③ 専業規模及び内容: 科学院には応用物理研究室センター・金属工学研究室センター・原子力研究室センターがあり、物理系には先端物理技術・環境物理・材料物理科学技術情報センター・商標技術の5部門で有用技術開発をおこなっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 陶磁器は材料物理部門・セラミックス工学研究室の1部門で、陶磁器試作ワークショップがある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員					
② 技術の範囲: 陶器の原料吟味・釉薬の改善・デザイン 強度改善!					
③ 業務の形態: 民芸品の17のインドネシア(物産バリエーション)の陶磁器は芸術的評価が高いが、製品の強度が均一に保たれていない。大量生産するところから見て、品質改善の技術的問題が多く、それらの点に重点を置き研究改善していく。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 研究員3名、陶芸職人5名					
⑤ 現地で利用できる機材: LPGガス使用窯・ボウミ-IV・鉛型。 その他物理系内、他研究室より強度試験に必要な各種測定装置・X-線の使用が可能。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 高分子材料研究室JICA専任員。					
⑦ 使用する言語: インドネシア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食器等工業用陶磁器は原料を輸入し生産している。当センターの陶磁器研究室は、バリ島風デザインをベースにした民芸品とした製品開発を目標にしているが、デザインの無理(割れ)からくるヒビ割れ・強度改善が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で明記のこと): 実務経験3年、強度改善のノウハウの研究経験が不可欠					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 JV (FAX) 049 号

記入 ~~期~~ 平成 2年 7月 12日 6/5
 調査者氏名 阿部久美子

04690008

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Ceramics/Pottery (日本語) 陶磁器	新規	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	3年3月	
		交替			

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Department of Social Welfare and Development, Bureau of Women's Welfare
 (日本語): 社会福祉省 女性福祉局
- ② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)
 所在地: Constitution Hills, Quezon City 主要都市(マニラ) *0
- ③ 事業規模及び内容: Productivity Skills Capability Building For Disadvantaged Women
 の企画、全体で JICA 無償資金協力を 2億 4400 万円、全国 54 箇所の訓練施設を *3 ヶ所、陶磁器に関しては Vigan, Sta. Tomas, Matalom, El Salvador, Cotabato の 5ヶ所
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

機材は 3年3月頃までに入ります。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: フィリピン人指導員の指導と監督
- ② 技術の範囲: 基本的に知識と技術 日本からの機材はあまりない。作らなければならないのは、現地の方式 (open fire) のための等火爐。
- ③ 業務の形態: 全国 54ヶ所の訓練施設の巡回指導というもので、マニラでは 5ヶ所の中の 1つにだけ活動を行うように決まっています。フィリピン人指導員の指導及び訓練方法の確立のための活動。訓練期間は 1ヶ月、対象人数 20名

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は訓練教員を要する女性、カウンターパートは *2 考中

⑤ 現地で利用できる機材: 3ヶ所、電気炉等 JICA 貸与機材。(NHK の "陶芸教室" に準じた機材が入る)

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: 英語、セブアノ、イロカ、タガログ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 女性福祉局として新しい企画があり、非常にいきごみが感じられる。また、これから具体的にどう進めたいのか(1)に際しては、わからない部分が多い。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

言語

※ 事務局記入

232

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 9月 31

調査者氏名

倉富 健治

(13190001)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Poterie (日本語) (201) 陶磁器	新規 交代	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	平成 3年 8月 平成 3 年 1 次隊	
(1) 配属先 (63/1, 真子潤世)					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministère de l'Artisanat et des Affaires Sociales, Direction de l'Artisanat (日本語) : 工芸社会事業省、工芸局					
②隊員勤務先名称 : Centre de Formation Professionnelle de Poterie de Meknès 所在地 : Ensemble Artisanat de Meknès 日本語名称 (メクネス陶芸職業訓練校) 主要都市 (メクネス) から キロ					
③事業規模及び内容 : メクネス工芸館には、中学校卒業程度の生徒を対象に、陶芸、木工、皮工芸、靴、織物、絨毯、刺繍の技術を教える2年生の職業訓練校及び工芸品の展示即売場などがある。					
④設備内容 : 各教科に講義用兼実習用の教室がある。陶芸科には、電気炉、電気ロクロ、足げりロクロ等もある。 (写真添付が望ましい)					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : 指導教官 (Instructeur)					
②技術の範囲 : 土練りから、電気ロクロ、足げりロクロを使つての成形及びデッサン、装飾等の技術指導ができる。					
③業務の形態 : モロッコ人教官と共に中学校卒業程度の生徒 (1年生 : 12人、2年生 : 6人) を対象に陶磁器に関する基礎的知識から実際に粘土を使つての土練り、ロクロを使つての成形、及びデッサン、装飾などの技術指導を行う。語学の問題等から当面は、実技を中心に受け持つ。但し、講義に於いても必要があればモロッコ人教官にアドバイス等を行う。					
④対象者及びカウンターパート : 生徒は、中学校卒業程度で15~18才基礎学力も低い。同僚の教官は、専門学校卒業程度で30才くらい、ロクロが専門である。					
⑤現地で利用できる機材 : 足げりロクロ : 10台 (5台不良)、仏製釉薬、絵具、その他協力隊支援による電気炉13 Kw : 1台、熱電対・温度計各1台、電気ロクロ : 2台、トランス : 2台、すじ車 : 2台					
⑥第3国人等の配置 : なし					
⑦使用する言語 : フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待					
モロッコに於いて工芸は重要な産業のひとつであり、陶芸も全国各地で盛んに行われている。優秀な指導教官の不足を補いつつモロッコ人教官の技術向上への期待から引き続き協力隊員の派遣を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)					
専門学校卒業以上で、実務経験は(3年以上)、ロクロを得意とし、職業訓練校での指導経験がある事が望ましい。					
※事務局記入					

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 8月 6日

調査者氏名

倉富健治

(13190102)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Poterie (日本語) (201) 陶磁器	新規 交代	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	平成 3年 8月 平成 3 年 1 次隊	
(1) 配属先 (元/2, 佐久間)					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministère de l'Artisanat et des Affaires Sociales, Direction de l'Artisanat (日本語) : 工芸社会事業省、工芸局					
②隊員勤務先名称 : Centre de Formation de Poterie de Safi 所在地 : Délégation Provinciale de l'Artisanat 日本語名称 (サファイ陶芸職業訓練校) 主要都市 (ラバト) から 350キロ					
③事業規模及び内容 : サファイ工芸支局には、小学校卒業程度の生徒を対象に陶芸及び絨毯に関する技術を教える2年生の職業訓練校がある。陶芸科の生徒数は、30名程度の入学があるが、常時出席する生徒は、1年生15名、2年生7名程度である。					
④設備内容 : 各教科に講義用兼実習用の教室がある。陶芸科には、電気炉、電気ロクロ、足げりロクロ等もある。 (写真添付が望ましい)					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : 指導教官 (Instructeur)					
②技術の範囲 : 土練りから、電気ロクロ、足げりロクロを使つての成形及びデッサン、装飾等の技術指導が出来る。					
③業務の形態 : モロッコ人教官と共に小学校卒業程度の生徒 (1年生 : 15人、2年生 : 7人) を使つての成形、デッサン、装飾等の技術指導を行う。語学の問題等から当面は、実技を中心に受け持つ。但し、講義に於いても必要があればモロッコ人教官にアドバイスを行う。					
④対象者及びカウンターパート : 生徒は、小学校卒業程度で14~20才基礎学力も低い。同僚の教官は、子供の頃から陶磁器をやっている陶芸家で50才くらい、装飾が専門である。					
⑤現地で利用できる機材 : 足げりロクロ : 10台 (6台不良)、陶芸用必要最低限度の道具はある。現在、マラケシュにある日本政府が供与した電気炉26Kw : 1台及び付属機材をサファイに移送する予定である。					
⑥第3国人等の配置 : いない					
⑦使用する言語 : アラビア語、フランス語 (生徒はほとんどフランス語を解しない。)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待					
モロッコに於いて工芸は、重要な産業の一つであり、陶芸も全国各地で盛んに行われている。但し、陶芸を理論的、体系的に指導できる教官は少なく、優秀な指導教官の不足を補いかつモロッコ人教官の技術向上への期待もあり、引き続き協力隊員の派遣を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)					
専門学校卒業以上で、実務経験は3年以上、職業訓練校での指導経験がある事が望ましい。					
※事務局記入					

青年海外協力隊受入希望調査表

二年度秋募集14990002 (雑誌要請)

記入 平成2年8月1日
調査者氏名 米崎英朗 (調整員)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
チュニジア	(現地公用語) CERAMIQUE	新規	(男) 人	3年9月	
	(日本語) 201 陶磁器	—	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): MINISTERE DES AFFAIRES SOCIALES, OFFICE DE LA FORMATION PROFESSIONNELLE ET

(日本語): 社会事業省職業訓練局 DE L'EMPLOI

② 隊員勤務先名称: CENTRE DE FORMATION PROFESSIONNELLE D'EL JEM 日本語名称 (エルジェム職業訓練センター)

所在地: RUE MOHAMED ALI 5160 EL JEM 主要都市 (チュニス) から 185 km

③ 事業規模及び内容: 1970年に設立された同センターは敷地面積12ヘクタール、生徒数110名、教官数10名。16才以上の青年が全寮制で2年間訓練を受ける職業訓練校である。9つの科がある。資料等の予算は年間720万円である。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務局、各科実習棟等 写真参照

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 教官

② 技術の範囲: 陶磁器の製造技術一般、デザイン

③ 業務の形態: 隊員は午前8:00から12:00まで、午後13:30から16:45までの月曜日から金曜日の間、週32時間勤務。同僚のチュニジア人とともに、10名前後の学生に教官として技術指導を行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生10名前後、16才以上、未経験者。

カウンターパートの経験年数は8年

⑤ 現地で利用できる機材: ろくろ機械 SHIMPO WHEEL 21 が3台

NABER (独) 焼き釜等

⑥ 第3国人等の配置状況: 90年現在 ベルギー協力隊員 (男) が一名おりデザイン・装飾等を教えている。

⑦ 使用する言語: 仏語 およびアラビア語チュニジア方言

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本の陶磁器技術は世界的にも有名であり、その技術の一端をチュニジアの技術に取入れ、観光収入を上げたいと考えている。チュニジアには比較的ヨーロッパに知られたナズール焼きというものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印をつけること):

実務経験4年以上

⑧ 事務所展望: 隊員獲得の難しい業種ゆえ、一代でも効果の上がるような技術移転に留意する必要がある。授業と平行してカウンターパートの育成を図る必要がある。

* 事務局記入

235

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 8月 13日

41390108

調査者氏名

大野 政義

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
P.N.G	(現地公用語) Ceramics	新規	(男) 1人	91年 7月	
	(日本語) 陶磁器(20)		(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Madang, Division of Commerce, Business Development Centre (日本語): マダン州, 商業局 ビジネス開発センター					
② 隊員勤務先名称: Business Development Centre 日本語名称(ビジネス開発センター) 所在地: マダン州 マダン市 主要都市(市内)から 0キロ					
③ 事業規模及び内容: 同州商業局では, 住民へのビジネス参加の為の機会を設ける為, アドバイス, トレーニングを行っており, プロジェクトとして, 陶器生産, 皮革加工, リサイクル工場を進めており, 陶器生産が主体となる					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 指導員(スタッフ)					
② 技術の範囲: 身近にある粘土を掘ってから, 焼成まで, 幅広い知識と技術, 応用力が不可欠とされている。					
③ 業務の形態: 陶磁器開発プロジェクトの推進の中心となり, 原料購入作成および指導, 焼成, 販売経営と幅広く業務に携わる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 小・中学校卒程度 2名					
⑤ 現地で利用できる機材: 支援経費で購入の窯, 倉庫 他に, ロック5台(電動) 手動ロック1台 電気窯 4.2kW および 3.6kW.					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 英語・ピジン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在, 初代隊員は, 任期を1年延長して, 活動中, 製造・販売が徐々に軌道にのりだしており, 継続的な支援が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○実務経験 2年以上. 幅広い知識					
※ 事務局記入					

236

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

JV (FAX) 0495

記入 ^{平成}昭和 2年 4月 13日

調査者氏名 阿部 久美子

04690010

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名米
フィリピン	(現地公用語) Rattan Craft (日本語) 20藤組工 44工芸	新規 交替	(男) 人 (女) 1人 (男女不問) 人	2年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語) Department of Social Welfare and Development, Bureau of Women's Welfare (日本語): 社会福祉省 女性福祉局					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)					
所在地: Constitution Hills, Quezon City 主要都市 (マニラ) 郊外					
③ 事業規模及び内容: Productivity Skills Capability Building for Disadvantaged Women の5種の職種の一つ。場所は11ヶ所					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 3年3月までに搬入予定 藤の材料を作る大型機械も入る予定					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術指導、指導員、指導監督					
② 技術の範囲: 藤組工の基礎的取組 大型機械で藤の加工をする事も含まれる					
③ 業務の形態: 訓練施設は4ヶ所のみでありその5ヶ所がマニラに滞在しての 指示に任ずる見込み 一回の訓練は15日間で20人が対象					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は40歳以下で文字は読める 社会的に不利な立場の女子女性。その20-110名は建築中					
⑤ 現地で利用できる機材: 各種藤加工機					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、イロカ、マカロ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術指導と商品化を行う。製品の開発にあっての期待が大きい					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 1. 実務経験 2年以上 2. 専門学校卒					
※ 事務局記入					

236-A

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 8月 10日

調査者氏名 和泉 守

221-88-105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エボピア	(現地公用語) Bamboo Works	新規	(男) 1人	91年7月	
	(日本語) 210 竹工芸	更新	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labour and Social Affairs
(日本語): 労働社会事業省
- ② 隊員勤務先名称: Children's Amba Village 日本語名称 (アンバ子供村)
所在地: シワダン インバ 主要都市 (アディス) から 200 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 戦争孤児、身寄りのない子供約 5,000 人に対し、約 1500 人のスタッフの養護にあたる一大子供村である。約 4200 ha の敷地内にある全ての設備がある。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): ワークショップ、病院、学校等、5村5村あり。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 技術指導者
- ② 技術の範囲: 高度な技術は必要としないが、竹工芸、細工に関する幅広い技術と知識、応用力。
- ③ 業務の形態: 竹工芸ワークショップに於て、現地職員及び学生 (主に高校生と作業実習) に対し、基礎的な技術指導から、各種新しいデザイン編み方などの幅広い指導を行う。職員は先ず自分が見本となるものを作り、それについて指導を行うこととする。又、今後は販売ルートの開発確立について指導助言を行う。

対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現地職員 3名 小卒程度 20~40才 小さい時から経験的技術

⑤ 現地で利用できる機材: 一般的道具 (ナタ、ノコ等)

⑥ 第3国人等の配置状況: キューバ人 隊員 2名 (農業機械 冶金)

⑦ 使用する言語: アムハラ語 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 将来的に、技術学校開設を目指しており、今からしっかりした技術を持った人を育てる必要がある。優れた技術力を持った日本人による継続的な指導を望んでおり、その期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 高卒以上 2~3年の経験のある人。

青年海外協力隊 経受希望調査表

記入日 平成2年8月15日
調査者 相馬 多一郎

31990104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
コロンビア	現地公用語: TRABAJOS DE BAMBU 日本語: 210 竹工業	新規 交替	(男) 1人 (女) (不問) 1人	91年 5月	
(1) 配属先					
①配属先名称(現地公用語): Corporacion Autonoma Regional del Quindio - C. R. Q. (日本語): キンディオ開発公社					
②隊員勤務先名称: Centro Experimental Nacional para el Estudio Guadua - Banbu 日本語名称(国立竹研究センター) 所在地: キンディオ (QUINDIO) 県コルドバ (CORDOBA) 市 主要都市(アレマニア) から 45 Km					
③事業規模及び内容: C. R. Q. の事業は、天然資源及び環境を適切に維持・管理することにより、キンディオ県の社会経済開発を促進することで、竹センターはその中で、竹に関してその再生、普及、竹を利用した建築、竹細工、竹の加工業竹の流通、保存などの地域レベルでの促進を行っている。					
④設備概要(写真添付が望ましい): 管理室、資料室、訓練室、実験室、従業員宿舎、竹庭園。(別添写真資料参照)					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位: 普及調査員					
②技術の範囲: 竹の有効活用に関する調査。					
③業務の形態: センター内の森林技師と、竹の生産、普及、利用、管理、病気についての調査を行う。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 10年の経験を有する森林技師(34才)					
⑤現地で利用できる機材: 車両、灌漑設備、試験場、立休鏡、高度計、顕微鏡。					
⑥第3国人等の配置状況: なし					
⑦使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 受入先であるC.R.Q.は、Quindio県内での天然資源の有効利用とその維持管理を主な業務内容としており、その業務の一環としてQuindio 県内で多く生息する竹のより有効な活用、生産を、研究するため竹センターを設立した。このセンターの業務を更に推進するため外国人技術者の指導、援助を希望しており、コロンビア国全体としても、ここでの成果が全国的な規模で広がることを期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件については○印で囲むこと): ①. 竹の生産、加工、普及、管理についての経験。 2. 共同作業の推進方法について知識があれば望ましい。					
*事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 3 月 25 日

調査者氏名 田中敏裕
(62 真鍋智之)

32889005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ドミニカ 共和国	(現地公用語) Artesania de Bamboo (日本語) 210 竹工藝	新規 <input checked="" type="radio"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	90年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Asociación Para el Desarrollo de San José de Ocoa (日本語): カンセサオコパ 開発協会					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称() 所在地: Andrés Duarte Exp. Pimental, San José de Ocoa 主要都市(サントドミンゴ)から 115 キロ					
③ 事業規模及び内容: カンセサオコパ全域の村落開発プロジェクト(農業開発普及、生活向上に関するプロジェクト、職業訓練 植林、教育、医療 etc.) を 20 年以上実施し、当地域における唯一の政府的存在。会長のサント神父はカトリック。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工藝 技術指導員					
② 技術の範囲: 竹工藝についての技術と知識					
③ 業務の形態: 小学校の校舎の一教室を改造した部屋で月～金の午前と午後に分けて、竹工藝に関心のある市民も実際に現金収入の道を得るために技術を習得したい主に農民(青年)に対して竹細工造りの指導・講習を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は上記の通り。 カウンターパートは 23才の中卒の青年。					
⑤ 現地で利用できる機材: 779こまり、77切り包丁、はし、刈り刀、みがき包丁、くじり、ハシ、丸ハシ、通し、鉄刃 他に 5セットある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 米軍平和部隊 カンセサオコパのボランティア (協力隊4名)					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 委員会が竹に興味をもち、竹の栽培から始め竹細工も竹による家屋建築、環境保全なども目指している。隊員は竹細工作りを通して、地域の人の新たな収入源として生活向上に貢献できるよう技術指導、移転を行なう。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 竹工藝の技術を有する者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 02年 7月13日

調査者氏名 古賀 正孝 (調)

031-90-101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サラワク)	(現地公用語) FURNITURE MAKING	(新規)	(男) 1人	91年 7月	
	(日本語) 211 木工	交替	(女) 人 (不問) 人		
(1)配属先					
① 配属先名称 (現地公用語) : SARAWAK TIMBER INDUSTRY DEVELOPMENT CORPORATION (STIDC). (日本語) : サラワク林産業開発公社 教育部門					
② 隊員勤務先名称 : SAMARIAN CENTRE 日本語名称 (サムリアン訓練センター) 所在地 : STIDC, BAHAGIANLATIHAN, Po, Box194, 93702 KUCHING, SARAWAK. 主要都市 (クチン市内)					
③ 事業規模及び内容 : 1973年サラワク州林業開発公社法により73年6月に設置された。林産業育成の為に政策・戦略の立案、林産物の国内・海外市場開拓、森林資源の有効利用、林産業の系統化・調整役、を目的としている。企業の助成・生産品の基準化・林産加工・製材・伐採法等の技術及び安全管理についての訓練と指導を実施している。					
④ 設備概要 : 14,5X18mの家具作業場、彫刻・籐工芸作業場、籐の苗場を含めた研修施設が完成しつつある。					
(2)隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位 : 木工指導教官					
② 技術の範囲 : 木工技術 (家具の設計・製作) 訓練用カリキュラム・シラバスの作成					
③ 業務の形態 : コースの目的は自らの経験から体得した製作技術を体系的に研修し直すことにより技能向上を狙い、ひいてはサラワクの家具製品の品質をあげることに。当面は家具製作所の職工を1コース15名ほど集め半年から1年の技術研修をさせる。このコースを進めるに当たり各家具製作所を訪問し、職工の技術・製品の実態調査を行い現状把握を定期化する。そのことからコースの目標設定をしていく。コースでは家具製作に当たりその設計 (デザイン) ・製作実習を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢 :					
⑤ 現地で利用できる機材 : BENCH RESAW 42", SURFACE PLANNER 16", RADIAL ARMSAW 16", CIRCULAR SAW-18", MOULDEL-6HEAD, が備えられる。コース用の手工具は指導者が着任次第購入予定である。					
⑥ 第3国人の配置状況 : なし					
⑦ 使用する言語 : マレーシア語					
(3)受入希望の背景と受入国の期待 : この開発公社の教育部門では、林産業の技術・安全管理の向上を目指し、林業コース : 測量・安全確保、産業コース ; 木材・製材の等級分類、実習コース ; 製材所・合板工場、等があり、今後木工コース・籐工芸コース等を開く。現在このコースの技術担当者が居らず隊員がコースの設立から運営まで携わることを希望している。					
(4)隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)					
木工実務経験 (設計もできること)					
職訓指導員資格 (木工コースのカリキュラムが作れること)					
※ 事務局記入					

240

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 昭和 2 年 7 月 9 日

調査者氏名

調整員 水野隆幸

(12290101)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ヨルダン	(現地公用語) carpentry (日本語) (211) 木工	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1991年11月 (3/2)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Young Moslem Women's Association (Y.M.W.A.) (日本語): ヤングモスLEM-ウ-マソ協会					
② 隊員勤務先名称: YMWA Centre for Special Education 日本語名称(YMWA 特殊教育センター) 所在地: Bunayāt, Amman 主要都市(アンマン)から 10 キロ					
③ 事業規模及び内容: 精神薄弱児に対し小学校程度の教育を旨としたことを目的に1972年設立。教師20名、3〜7才児40名、8〜16才児80名前後が通う。卒業生に付同センター内に併存する職業訓練コース(木工・園芸・染織・織物・陶芸)で2年間の社会に出る前の訓練を与えられる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): (写真添付)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 木工のインストラクター					
② 技術の範囲: 精進者(軽度)に対する機械加工技術。カウンターパートに対しては家具のデザイン・製図・手ほどき等の指導。精進者に対する職業指導方法の確立。					
③ 業務の形態: 木曜・休日 7時〜8時 昼休み。午前8:00〜午後1:00 授業。午後1:00〜2:00 まで準備時間。2時間1にまで1日2コマ。5人程度のグループが8グループあり。主に2グループが1単位として訓練を受ける。生徒年齢16〜17才。木工コースは職業訓練的側面と生産ワークショップの2面がある。生徒の訓練を主体としたものとしては、簡単なイス・ツエ、小物などを数量に製作してバザーで売る。生産ワークショップとしての側面としては、外部からの家具の注文に応じて、生徒は単純作業でインストラクターの手を助けて働かせる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 4〜7年インストラクターまたは工業高校卒。経験4年(うち1年は日本での木工研修)他の2名のインストラクター 高卒3年経験、中卒6年経験(31才)の技術は高い。					
⑤ 現地で利用できる機材: バンドソー、水平サーキュレーションソー、電動ドリル、かんざ盤、ルーター、圧縮機(26)、コンプレッサー、ヤスリ、必要とする工具は揃っている。(写真添付)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 4人程アメリカの学生ボランティア(1年任期、技術は高く、手強い)					
⑦ 使用する言語: 生徒に対しては簡単なアラビア語。職員には英語が通じる。					
(3) 受入希望の背景と受入期の期待: 木工コースは6年前に設立され、職業訓練としては設備・人員・内容ともに最も秀出している。3年前から木工訓練を終えた優秀な技能者はYMWAの木工生産ワークショップで雇用の機会が得られる。(この生産ワークショップには2名のJICA専門家が3年前に協力者としており、機材もJICAに提供されたもの)。すでに訓練は指導に乗っているがデザイン・製図・指導要領などが不足している。指導者を必要としている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 木工(家具)の卓路的(経験3年以上) 製図技術 工業高校卒以上。指導経験が長い場合。派遣前技術研修(職業訓練)が必要。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 9月 3

調査者氏名

柳井 進

(13190002)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Menuiserie (日本語) (211) 木工	新規 交代	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 3年 8月 平成 3年 1次隊	
(1) 配属先 (元/人松野泉)					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministère de l'Artisanat et des Affaires Sociales, (日本語) : 工芸社会事業省					
②隊員勤務先名称 : Centre de Qualification Professionnelle de Fès 所在地 : B.P.1119, Fekharine, Fès 日本語名称 (フェズ職業訓練校) 主要都市 (フェズ) から 0キロ					
③事業規模及び内容 : 孤児及び比較的貧しい家庭の子供達で中卒以上の者を対象にした3年制の木工専門職業訓練校で、各学年15名前後の生徒がおり、全寮制である。指導教官は各学年2名いる。					
④設備内容 : 共通の講義室、製図室及び各学年にそれぞれ実習室がある。 (写真添付が望ましい)					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : 指導教官 (Instructeur)					
②技術の範囲 : ベッド、机、椅子、タンスなどの家具を始め、ドア、窓枠等の製作指導及び木工機械の保守、操作ができる。					
③業務の形態 : 一年生は、主に基本手工具による技術訓練(手鋸で木取りをして、手かんなで仕上げ)をする。二年生は、手工具プラス木工機械による建具作り。三年生は、木工機材を十分使ったの家具作り。木工技術授業の他、フランス語、数学、商法、アラビア語化学、歴史の授業も行われる。					
④対象者及びカウンターパート : 対象者は前述のように中学校以上の学力の15~20才位の生徒。同僚教官は、専門学校卒業程度で30才前後、理論的知識はあるが技術不足である。					
⑤現地で利用できる機材 : 横切り、手押しかんな盤、自動かんな盤、ハンドソー(不調)、ルーター、ベルトサンダー、ハンドルーター、手持ち丸鋸					
⑥第3国人等の配置 : なし					
⑦使用する言語 : フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待					
モロッコ人教師の人材不足の補充という事は、否定できないが、日本人の高い技術には、大いに期待している。モロッコ人教師の技術力のレベルアップの期待もある。また、授業の充実のためには、教材の充実が必要不可欠とあつて、教材の要請もかなりでてくると思われる。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)					
実務経験(3年以上) 機械、手工具を使って家具をデザインから仕上げまでひとりのできる。塗装は、ワニスのみである。					
※事務局記入					

242

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 9月 3日

調査者氏名 大島 晃

(13190003)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Menuiserie	新規	(男) 1人	平成 3年 8月 平成 3年 1次隊	
	(日本語) 211 木工	交代	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministère de l'Artisanat et des Affaires Sociales, (日本語) : 工芸社会事業省					
②隊員勤務先名称 : Centre de Spécialisation Professionnelle de Khemisset 所在地 : ケミセット 日本語名称 (ケミセット職業訓練校) 主要都市 (ラバト) から 80キロ					
③事業規模及び内容 : 同省が各地に持つ職業訓練校の一つで、比較的社会的に恵まれない環境にある生徒、主に中学校中途退学または中卒程度の者を対象に、自動車整備、木工、電気工事等の技術を教えている2年制の学校である。					
④設備内容 : 各教科に講義用兼実習用の教室がある。 (写真添付が望ましい)					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : 指導教官 (Instructeur)					
②技術の範囲 : ベッド、机、椅子、タンスなどの家具を始め、ドア、窓枠等の製作指導及び木工機械の保守、操作ができる。					
③業務の形態 : 配属直後は、モロッコ人教官のアシスタントとしてスタートする。語学力の向上に従って、まかされ年間計画、カリキュラムの編成、試験の実施、評価を行う事になる。但し同科に担当教師が着任していない場合は、配属直後からフランス語(アラビア語を交える事もある)で授業を行う。授業では基礎から応用技術まで2年間で教える。学年は、9月～6月まで、月曜～金曜までほぼ毎日授業がある。午前8:30～11:30、午後2:30～5:30まで、尚且休暇は7月～9月中旬、12月のおわりに1週間3月、4月はじめに2週間各々休みがある。					
④対象者及びカウンターパート : 対象者は前述のように中学校卒業程度の学力の15～18才位の生徒。同僚教官は、専門学校卒業程度で30才前後、理論的知識はあるが技術不足である。					
⑤現地で利用できる機材 : 木材加工用機械、工具は一応あるが故障していたり、数が不足している。					
⑥第3国人等の配置 : なし					
⑦使用する言語 : フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待					
モロッコ人教師の人材不足の補充という事は、否定できないが、日本人の高い技術には、大いに期待している。モロッコ人教師の技術力のレベルアップの期待もある。また、授業の充実のためには、教材の充実が必要不可欠とあつて、教材の要請もかなりでてくるとされる。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)					
実務経験(3年以上)、家具等の設計、製作及び加工機械に関して精通していること。					
※事務局記入					

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 9月 3

調査者氏名 大島 晃

(13190007)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Menuiserie (日本語) (211) 木工	(新規) 交代	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 3年 8月 平成 3年 1次隊	
(1) 配属先					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministère de l'Artisanat et des Affaires Sociales, (日本語) : 工芸社会事業省					
②隊員勤務先名称 : Centre de Formation Professionnelle "Panoramique" de Casablanca 所在地 : Hay Hassani Ain Choc, Casablanca 日本語名称 (カサブランカ職業訓練校) 主要都市 (カサブランカ) から 0キロ					
③事業規模及び内容 : 同省が各地に持つ職業訓練校の一つで、比較的社会的に恵まれない環境にある生徒、主に中学校中途退学または中卒程度の者を対象に、自動車整備、木工、電気工事等の技術を教えている2年制の学校である。					
④設備内容 : 各教科に講義用兼実習用の教室がある。 (写真添付が望ましい)					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : 指導教官 (Instructeur)					
②技術の範囲 : ベッド、机、椅子、タンスなどの家具を始め、ドア、窓枠等の製作指導及び木工機械の保守、操作ができる。					
③業務の形態 : 配属直後は、モロッコ人教官のアシスタントとしてスタートする。語学力の向上に従い授業をまかされ年間計画、カリキュラムの編成、試験の実施、評価を行う事になる。但し同科に担当教師が着任しない場合は、配属直後からフランス語(アラビア語を交える事もある)で授業を行う。授業では基礎から応用技術まで2年間で教える。学年は、9月～6月まで、週は月曜～金曜までほぼ毎日授業がある。午前8:30～11:30午後は2:30～5:30まで、尚夏季休暇は7月～9月中旬、12月のおわりに1週間3月、4月はじめに2週間各々休みがある。					
④対象者及びカウンターパート : 対象者は前述のように中学校卒業程度の学力の15～18才位の生徒。同僚教官は、専門学校卒業程度で30才前後、理論的知識はあるが技術不足である。					
⑤現地で利用できる機材 : 木材加工用機械、工具は一応あるが故障していたり、数が不足している。					
⑥第3国人等の配置 : なし					
⑦使用する言語 : フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待					
モロッコ人教師の人材不足の補充という事は、否定できないが、日本人の高い技術には、大いに期待している。モロッコ人教師の技術力のレベルアップの期待もある。また、授業の充実のためには、教材の充実が必要不可欠とあつて、教材の要請もかなりでてくると思われる。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)					
実務経験(3年以上) 家具等の設計、製作及び加工機械に関して精通していること。					
※事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^中昭希 2年 8月 8日

調査者氏名 意澤敏幸

41390109

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
P.N.G	(現地公用語) Carpentry	新 規 交 替	(男) 1 人	91年 7月	
	(日本語) (211) 木工		(女) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of western Highland province, Division of Education.					
(日本語): 西ハイランド州 教育局					
② 隊員勤務先名称: Mt. HAGEN URBAN Vocational Center 日本語名称 (マウントヘイゲン 職業訓練校)					
所在地: Mt. HAGEN 主要都市 (Mt. HAGEN) から 2 キロ					
③ 事業規模及び内容: 西ハイランド州 教育局 管轄の 職業訓練校 4校 の 内の 1校 である。Non-Formal Education と して 教会 団体の 組織 運営 により Community school と 共に 併設 さ れ る。指導 員 数 校長 以下 7名 生徒 数 120名					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 専用 教室, 実習 場					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 訓練 指導 員					
② 技術の範囲: 木工 に関する 基礎 知識, 机, 椅子, 簡単な 家具 制作 に関する 技術 指導					
③ 業務の形態: 小学校 卒業 者 (Grade 6) からは 中途 退学 者 を 中心 と して 生徒 と 対し。教室 内の 基礎 理論 の 指導 及び。実習 場 において 作業 を 中心 と して 実 践 的 作業 指導 を 行う。年間 訓練 計画 の 大 綱 は 学校 側 が 作成 し。訓練 計画 の 詳細 については 指導 員 各自 が 訓練 計画 を 設定 する 必要 がある。教室 での 授業 及び 実習 の 配分 は およそ 半 半 の 割合 である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 同校 卒業 者は High school (Grade 10) 年齢 21才, 22才 2名。					
⑤ 現地で利用できる機材: 木工 に関する 手 工具, 自動 かん 研 盤, 卓上 ボー ン 盤					
⑥ 第3国人等の配置状況: 3名 及び 日本人 コントラクター 1名					
⑦ 使用する言語: 英語, ロビン 語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 西ハイランド州 青少年 職業 訓練 の 一環 として, 小学校 卒業 者 及び 中途 退学 者 の 職業 訓練 技術 指導 員 として 10年 以前 の 経験 的 職業 訓練 員 と して。現在 同 教育局 に 2名 の 隊員 が 所属 して いる。専任 指導 員 の 活躍 が 期待 され。今後の 職業 訓練 施設 の 期待 も あり 期待 されている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 木工 に関する 知識 (工業 高校 又は 職業 訓練 校 (木工 科) 卒業 者)					
○ 経験 2~3年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2 年 8 月 30日

00490108

調査者氏名 丸山 治美 (調整員)
北川 伸二 (仕上げ)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ブータン	(現地公用語) Die Designer (日本語) 仕上げ (金型) 2/2	新規 ○交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 3年12月	
(1) 配属先					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministry of Agriculture, Department of Agriculture (日本語) : 農業省 農業局					
②隊員勤務先名称 : Agriculture Machinery Center (AMC) 日本語名称 (農業機械化センター)					
所在地 : Bondey Farm, Paro, Bhutan 主要都市 (ティンブー) から 57キロ					
③事業規模及び内容 : AMCは、農具製造部門 (Manufacturing Unit) ・農機訓練センター ・修理工場等に分かれており、約90名のスタッフが働いている。 隊員の所属する農具製造部門では、農具の改良・試作、またその実用化試験・普及活動も行なっている。					
④設備概要 : 農具製造部門は、鍛造・鋳造・木工・板金・プラスチック成形・金型セクションがあり、設備的にはほとんど整っている。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : AMC農具製造部門での指導員					
②技術の範囲 : 農民が現在使っている農具の改良、また新しいタイプの農具の試作から量産までといった工程における幅広い知識と、金型製作・熱処理・工作機械使用方法の指導ができる技術力が必要。					
③業務の形態 : 農具製造部門において、スタッフ28名 (うち鍛冶屋1名、大工1名) に対し農具製作の指導を行なう。現在この製造部門では、手押し草刈機・鋤レーキ・鎌・プラスチックポット・野生動物よけフェンスを製造しており、農民のための安価で便利な農具を作り出す知恵が必要である。日本では使われなくなった農具について、見聞を広めておけば、赴任後に大いに役立つであろう。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び 年令 : 製造部主任は大学卒、30才、1989年に日本で9ヵ月の研修を受ける。 スタッフは、職訓練校卒。					
⑤現地で利用できる機材 : プレス機 (2)、 アーク溶接機 (3)、 セーバー (1)、 ラジアルボール盤 (2)、 鉄筋加工機 (1)、 ガス溶接機 (2)、 プラスチック成形機 (1)、 バック成形機 (1)、 フェンス製造機 (1)、 シャーリング (1)、 手押しベンダー (1) 等					
⑥第三人等の配置状況 : JICA専門家1名、協力隊員2名 (農業機械、仕上げ)					
⑦使用する言語 : 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 国民の大部分が農業従事者であるブータンだが、労働力の不足もあり限られた農耕地を十分に生かしているとは言えず、安価でしかも品質の良く使いやすい農具が供給できれば、農民に貢献するものは大きい。 AMCでは、プレス機を主体に金型 (農具製造に関する部品を作るうえで必要不可欠) を製作し、農具作成の作業能率を向上させ、従業員のレベルアップも図ろうとしている。 日本人の発想の柔軟さはAMCでは良く知られており、隊員の創意・工夫に対する期待は大きいものがある。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件○印)					
自動二輪免許 ○上記技術範囲における経験が3年以上 (特に金型製作、工作機械に対する業務経験)					
高専または大卒 (機械または金属科)					
※事務局記入					

246

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2 年 9 月 10 日

調査者氏名 青木 譲次

小林 育夫 C.C.

31070004

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホリウイブ	(現地公用語) Trabajos en Cuero	新規	(男) 人	平成 3 年 8 月	
	(日本語) (2/3) 皮革工芸	(交替)	(女) 人 (男女不問) 1 人	現地着	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Corporación Regional de Desarrollo de Santa Cruz (日本語): サンタクルス州地方開発公社					
② 隊員勤務先名称: Centro de Investigación Diseño Artesanal y Comercialización (CIDAEC) 日本語名称(民芸品商業化センター) 研究所 所在地: M. Ignacio Salvatierra 407, Santa Cruz 主要都市(サンタクルス)市内					
③ 事業規模及び内容: 各農村に埋もれている伝統工芸(民芸品)の発掘、製品化及び販路市場の拡大、また、これによる農民の生活向上(現金収入獲得)を目的とした技術。職員 9 名、陶芸製作者 3 名、助手 6 名、協力隊隊員 4 名が、現在活動している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): サンタクルス市内に、事務所兼、店舗、及び 2ヶ所の製作所、又、農民対象の教室が、コトカ村、サマイヤタ、バズエフランテ、ロス・ビ-ホス等にある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 皮革工芸指導員					
② 技術の範囲: なめしに肉する初歩的知識及び、その皮革を使用したの製品加工技術 (※ イソリ村に露天のなめし場を計画中)					
③ 業務の形態: サンタクルス市内の製作所において、皮革による民芸品の製品開発を行うと共に、イソリ村において、ヤブ及び牛皮のなめし、製品加工及び、村人への技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者: 農民(妻人)及び助手					
⑤ 現地で利用できる機材: 市内の製作所には、5台の皮革用機械がある。(内、4台は特殊な為、一般的には、使用不可。フランス製の皮すき機械一台が運転中)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 西語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
市場に出ている民芸品の少ないサンタクルスにおいて、田舎にある天然の材料を利用し、埋もれている伝統工芸を商品化する為、新しいアイデア及び技術移転を必要としている。その商品は、農民の現金収入獲得に直接つなぐ為、よりアイデアのある売れる商品を作る必要があり、隊員にかかる期待は大い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (専ら学校卒業以上) (皮のなめしが出来、又、製品加工が出来ること)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 3月 20日

調査者氏名 藤谷 浩至

02890002

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ラオス	(現地公用語) Automobile Body Repair (日本語) 自動車板金 (221)	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	90年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Vientiane Municipality (日本語): ヲンチン県庁					
② 隊員勤務先名称: Public Bus Company 日本語名称(公共バス会社) 所在地: ヲンチン市内 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 1975年に設立。79年及び80~89年に日本の無償資金協力により供与された56台のバスを31の路線で運行している。職員数232名。メンテナンス部門は25名。(運行路線図は別添の通り)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 79年に供与された日野バスの55台が稼働中。80~89年には日野大型バス32台、三菱ビークルバス14台が供与された。ワークショップは現在建設中。90年11月完成予定。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術部門のアドバイザー。					
② 技術の範囲: 日本が供与したバス56台の車体の修理, ガス・電気溶接。					
③ 業務の形態: 9/1の技術部門のDeputy Chiefのアシスタントとして、技術部門のスタッフ25名とともにバスの保修にあたりると同時に、スタッフに技術指導する。現在の板金・溶接担当者は2名だけだが、他のスタッフにも技術指導してほしいとのこと。尚、技術部門のスタッフをあと15名増員する計画がある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 9/1の技術部門のDeputy Chief、32才、JICA研修員として2.5月来日した。一般スタッフは高卒がほとんど、年齢25~30才。					
⑤ 現地で利用できる機材: ワークショップも日本の協力により建設されており、専門家(短期)も入っている。たいていものは揃っている。(別添リスト参照)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 日本人専門家が2名(運行管理1名10月、バス保修1名30月)					
⑦ 使用する言語: ラオス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: これまであまり充実しなかった公共輸送サービス部門が、50台のバス供与によりかなり整備された。しかし、ラオスの道路状況を見た場合、メンテナンス部門の重要度は非常に高い。専門家によるマニュアル化されたバス保修の体制をラオス人スタッフの間に定着させることが期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 自動車板金の経験 3年程度					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 平成 2年 2月 10日

調査者氏名 勝俣 祐二 (調整員)
太刀野 裕

031-90-004

受人希望国名	受人希望業種	区分	受人希望人数	受人希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Automobile Body Work	新規	(男) 1人	90年12月	
	(日本語) 自動車板金 (221)	交替	(女) 人 (不問) 人		
(1)配属先					
① 配属先名称 (現地公用語) : Ministry Of Youth & Sports, Malaysia					
(日本語) : マレーシア青年スポーツ省					
② 隊員勤務先名称 : Pusat Latihan Belia, Dusun Tua 日本語名称 (トランス トア青年訓練所)					
所在地 : Batu 14, 43100 Hulu Langat, Selangor 主要都市 (KL市内) から30km					
③ 事業規模及び内容 : 青少年の職業訓練を目的に当省傘下、国内4ヶ所に設けられた訓練所の一つ。 電気・機械・建築・裁縫・自動車等、22のコースがあり、修業期間は各々異なるが板金科は2年制。生徒数は男女併せて800名程度。全指導員数は80名程度。全寮制で生徒には軍事教練が課せられる。					
④ 設備概要 :					
(別添写真参照)					
(2)隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位 : 技術指導員 (教師)					
② 技術の範囲 : 自動車板金塗装一般 (展開・整形加工・溶接・修正・パテ・塗装等。) 特に板金修理技術 (整形加工) が重要となる。その他、MIG溶接・プラスマカット技術等も望まれる。					
③ 業務の形態 :					
・実習場において生徒に対し、実技指導を行う。(10名程度 X 3グループ対象)					
・週 20~30時間程度の授業をもつ。					
・必要に応じ、板金・塗装・製図・安全等に関する理論の講義を行う可能性あり					
・就業時間 8:00-16:15, 土曜半日, 日曜休日					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢 :					
同僚教師は2名 (現在) 短大卒程度。生徒は中高等学校卒が殆どである。(19-24才)					
⑤ 現地で利用できる機材 :					
板金・塗装用各種工具一式, 炭酸ガス半自動溶接機, I7-コンプレッサー, ホール盤, グラインダー, アセチレンガス溶接機, 現在新実習場を建設中であり、今後機材増加の見込である。					
⑥ 第3国人の配置状況 : 現在、JOCV以外にはなし。					
⑦ 使用する言語 : マレーシア語					
(3)受人希望の背景と受人国の期待 :					
工業立国をめざす当国にとって、各職技能者の育成は急務であり、工業部門における優秀な人材の輩出を目的とする同校への期待は高い。卒業生への求人率が高いのは、即戦力となり得る面を乞われてのものである。しかし、板金技術においては、未だ高度な技能は備わっておらず、専門知識に欠ける面が多い。日本の優秀な技術者による教育が望まれている。					
(4)隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと)					
・(実務経験3年以上) 職業訓練経験があればなお良い。					
・専門学校卒程度, 30才前後が望ましい。					
※ 事務局記入					

249

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 2 年 7 月 17 日
記入 昭和

調査者氏名

調整員・水野隆幸

(12290102)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ヨルダン	(現地公用語) Metal Casting (日本語) (231) 鋳造	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1991年8月 (3/1)	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Vocational Training Corporation (日本語): 職業訓練協会					
② 隊員勤務先名称: Yajouz Training Centre 日本語名称 (メジス-又訓練所) 所在地: Yajouz, (Rusaiifa) 主要都市 (マソレ) から 15 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1983年FIMの援助で設立したメジス訓練所は全国8カ所にある総合訓練所の一つで、電気・冷蔵庫・セトルヒーター・配管・エアコン木工・溶接・金属加工・機械・自動車修理を7人のエンジニア、43人のインストラクター。1年の定修を含む3年制で中卒者が1,000人以上。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 600m ² の敷地に300m ² のwork shopが7棟の他、教室、図書室、食堂などの施設あり (1987年の精密機器の増設の際に写真添付)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 鋳造コースの責任者 (エンジニアと同格)					
② 技術の範囲: 実践的鋳造技術 (材料: アルミ・銅が主体、方法: マニユアルが特長のためネットワークの知識が深い)					
③ 業務の形態: 勤務は AM 7:30 ~ PM 4:00 まで、鋳造には次の三つの形態がある。① 中卒者の2年コース (1990年9月開業場 (週3日) 工場実習 (週3日) インストラクター2名が指導); 削り出しの練習内容等の改善アドバイス ② 技術向上コース (開業場の技能者・インストラクターのための3ヶ月コース); 削り出しの改善を直接指導 ③ 実験室; 実験様板を使用し、技術向上のための実験を行ない、それに基き、指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: エンジニア (イラク大卒工業が専門だが鋳造の知識は無い) インストラクター (2名 6年間、生徒の工場実習を指導している) のどちらの技能もかなり理論的度					
⑤ 現地で利用できる機材: ガス炉 (1台 小型; 銅で2-3kgの容量) 電動ふるい機 (1台) つけに乏しい) 計り (2台) フォーメラー (1台) ふりこ、融け金属を入れる器、ふるい、じょうろ、砂の秤、砂の他、試験用機材 (写真添付)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ヨルダンには、鋳造工場 (従業員25人から50人程度の規模) があるが、その技術は大変低い。メジス訓練所では6年前より工場実習 (見習い方式) を中心に40~50人の中卒者の訓練を12ヶ月間、訓練の内容は低かった。1990年9月開業機材で設備した作業場を使い、本格的訓練を開始する。訓練内容の確立と、技術の向上のために日本の技術者の協力を求めている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒 (鋳造) (実践的実務経験3年以上) 25才以上 技術指導の経験 (それ以外は派遣前技術研修を受ける)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 2年 8月 3日

調査者氏名 坂井 茂雄
清水 康子

22790101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
か-ナ	(現地公用語) Welding & Fabrication (日本語) 240 溶接	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	'91年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): National Vocational Training Institute (日本語): 国立職業訓練校					
② 隊員勤務先名称: Anglican Vocational Centre 日本語名称(アンリカン職業訓練校) 所在地: P.O. Box 133 Zuarang 主要都市(ホムタンカ)から 5 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1976年開設の職業訓練校。家政科、建築、石工、自動車整備の各コースがある。生徒数約100名。学校名はAnglicanであるが、NVTIの教会から運営をひきついであり、現在はNVTIの訓練校である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 校舎、作業場、車					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 基本的な溶接技術の指導					
③ 業務の形態: 自動車整備科の生徒に溶接技術を指導する 実習と講義の両方を含む。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は中学生。自動車整備科のインストラクターは1名。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無 (但し、自動車整備隊員を要請中) (同時)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当校は経済事情の苦み、実習機材等はほとんど備えておらず、あっても故障しているものも多い。現在、各コースを充実させる為、学校は企業にもその支援を依頼している。隊員を入れることで、インストラクター、生徒両者の技術向上と設備の充実を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 3年の実務経験、専ら学校卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 昭和 2年 6月 15日
記入

調査者氏名 筒井 昇

277-90-007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
7=サ"=ア	(現地公用語) Welding (日本語) 溶接 240	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MIZARA YA ELIMU (Ministry of Education) (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: IFUNDA Technical School 日本語名称(17=9"工業学校) 所在地: P.O. Box 11 Ifunda Iringa 111 主要都市(11=7")から45キロ					
③ 事業規模及び内容: 1952年創立。生徒数240名(男160, 女160), 教師数52名。機械科、土木科、電気科の3学科あり。溶接コースは機械科に属し。生徒数は1年2回4年72"計96名。教師は1名。寄宿制。予算は年間4000~4800万=7"。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 電気溶接機3台。ガス溶接6セット, 7-7=247"は完備している。授業中は3/2=7-7-7"設置している。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Mechanical Department a Welding & Metal fabrication 2-2 a 教師					
② 技術の範囲: Oxy-Acetylene Welding, Oxy-Acetylene Cutting, Soldering, Electric Arc Welding, M.I.G, T.I.G & Carbon Arc welding a 実習及21"座学を英語7"教授					
③ 業務の形態: 1時間40分。7:20~2:10 a 授業7"生徒は週45時間, 2"内 専門2"10時間(座学2時間, 実習8時間), 35時間は一般教科。2"生徒を対象10週24時間受ける7"。2学期制7" 新学期は1月23日始7"。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 生徒(1年~4年生), 15~19才。					
⑤ 現地で利用できる機材: Welding machine (電気) 3台。Oxygen Cylinder, Acetylene Cylinder, 6セット a 2"溶接。					
⑥ 第3国人等の配置状況: VSO 2名 (英語, 数学)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当校は卒業後国家試験7" Assistant Technician Certificate a 資格をとり7"技術者養成校7"あり。当国の中堅技術者の不足と教師不足7"。隊員派遣は大いに期待247"している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件についてO印で囲むこと): 経験3年以上, O 専門学校以上 (Diploma), O 25才以上。					
※ 事務局記入					

251-A

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 8月 / 日

調査者氏名 筒井 昇

273-90-113.

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) WELDING (日本語) 溶接 240	新規 <u>交替</u>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	3年/2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION ZANZIBAR (日本語): ザンジバル教育省					
② 隊員勤務先名称: MIKUNGUNI TECHNICAL SECONDARY SCHOOL 日本語名称(ミクングニ技術中等学校) 所在地: P.O.Box394 ZANZIBAR 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数136名、校長、副校長各1名、普通科教師10名、専門教師8名、電気機械、木工、土木施行科があり、各実習棟がある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位教員					
② 技術の範囲: ガス、アーク溶接(自転車、自動車、工作機械のパーツの修理を含む)					
③ 業務の形態: 座学と実習があるが、前任者は実習のみ担当している。実習の前準備、実習時間帯は8時から午後1時半まで。実習担当時間以外は学校の現金収入のための製品の製作修理を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 機械科教員: 工業高校卒業程度。生徒は40名程度: 13~18才くらい					
⑤ 現地で利用できる機材アーク溶接機6台(日本製)、酸素、アセチレンボンベ各1本、ガス溶接棒: 鋳鉄用・アルミ用・軟鋼用、被覆アーク溶接棒: 軟鋼用3.2mm φ(中国製)・鋳鉄用・ステンレス用(日本製)、工具一式					
⑥ 第3国人等の配置状況なし					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タンザニア人教師不足のため、隊員による溶接技術者の養成、溶接技術向上が望まれる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 指導経験のあるものが望ましい。ガス溶接ができる車(ガス技能講習終了証取得者)。アーク溶接A-2V程度またはA-2H(短期大学卒以上)					
※ 事務局記入					

252

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

JVWS 027 22

記入 昭和 2 年 8 月 10 日

調査者氏名

米里吉則

90101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サモア	(現地公用語) Welding (日本語) 溶接 240	新規 (交替)	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	3年7月 1以隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Public Works Department (日本語): 公共事業省					
② 隊員勤務先名称: P.W.D. Vaitele Workshop 日本語名称(バイトレ工場) 所在地: Vaitele 主要都市(アピア)から 5 キロ					
③ 事業規模及び内容: 従業員約60名。主にサモア政府に所属する車輛・重機関係の修理が多い。溶接・建設機械・電気・自動車整備・工作機械・板金の6部門から構成されている。溶接部門には8人のワーカが所属している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): アーク溶接機・ガス式・及びミックス溶接(CO2)他に高圧切断機・グラインダー・サンダー(大・小)・ボール盤・加工用テーブル・工具類					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 溶接部門の責任者					
② 技術の範囲: アーク溶接・ガス溶接・切断及びミックス溶接(CO2)鋳物・アルミ・ステンレスなどの溶接に対する知識。					
③ 業務の形態: 現場型の業務で、自身が仕事に従事すると共にサモア人の技術指導に勤める。カウンターパートの利便は多く、溶接部門の責任者として部門の管理をすると共に、材料の発注なども業務の一つである。重機・一般車輛の他に整備加工なども行っている。安全面の徹底・安全対策の改善なども指導している。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートなし。					
⑤ 現地で利用できる機材: (1)の④と同じ。					
⑥ 第3国人等の配置状況: オーストラリア人スタッフ5名					
⑦ 使用する言語: 英語・サモア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 加工手順・安全対策・溶接の強度の強化・寸法の測方を主に、隊員の指導により、ワーカの技術向上を求めている。サモア人課長クラスの育成向上も求められている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (JIS規格の溶接免許) 実務経験の豊富な人物が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 3月 16日

調査者氏名 堀越 仁志

01390014

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 丝绸	新規	(男) 人	91年3月	
	(日本語) 260 織物	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 湖北省科学技术委员会 (日本語):					
② 隊員勤務先名称: 湖北省国营罗田茧丝绸总公司 日本語名称(国营罗田繭糸絹絲合会社) 所在地: 湖北省羅田県鳳山鎮 主要都市(武漢)から180キロ					
③ 事業規模及び内容: 1974年に会社が設立され1977年から生産を開始した。当地の産物は粟に次いで養蚕が重要で繭の生産量は年間2000tで、当社で年間150tの生糸を生産し、250万mの絹織物を生産している。職員数1,326人					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 113,500m ² の敷地には事務所、繭の選別所、生糸を生産する工場、絹織物を生産する機織工場、染色工場、職員住宅がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 工務士					
② 技術の範囲: (中国製自動織機を使った) 絹織物					
③ 業務の形態: 当社の機織課に所属し、絹織物の品質向上のための機織を指導する。 現状では絹織物の52%しか上等品が生産されおらず、工務士(技術者)は機械専門の人だけなので、織の専門の隊員に指導してもらうことにより、品質の向上をほかりたいとのことである。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は当社の機織工場の人。カウンターパートは大卒で経験5年の工務士、ただし専門は機械。					
⑤ 現地で利用できる機材: 中国製自動織機 24台					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 中国語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地域には40,000亩の桑畑があり、5万戸の農家が養蚕をおこなって年間2000tの繭を生産している。当社はこの繭から年間150tの生糸を生産し、250万mの絹織物を生産している。しかし絹織物の上等品率が52%と低く、隊員の機織技術の指導により、上等品率が上がり、品質の向上により収入が増え、地域発展に貢献することが望まれている。なお当地は国家科学委員会がおこなっている貧困対策地域の一つで、絹織物産業の発展により収入の増加と地域住民の生活向上が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">経験3年以上</div>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 9月 11日

調査者氏名 池島 睦子

00/90114
00/89012

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Textile Printing	新規	←男) 人	3年 7月	
	(日本語) 263 染色	交替	(女) / 人		
			←男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Social Welfare and Women Affairs. (日本語): 社会福祉婦人局。					
② 隊員勤務先名称: Department of Women Affairs 日本語名称(婦人局)) 所在地: Khulna 主要都市(クルナ)から市内 キロ					
③ 事業規模及び内容: 独立戦争の被災婦人達の更生施設として1972年2月に設立され、その後時の流れとともに対象者も貧しい貧困婦人に変更。現在中身の婦人が織、縫製の研修中(クルナに在りて縫製の隊員が1名おり指導にあたり、) 娘達の子供達も併設されている託児所がある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、研修室、託児室、台所。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 絹目スクリーン印刷及び版印刷に糸布に模様の染め。					
③ 業務の形態: 約50名の研修生の中より染色コースの士を2名、午前10時から午後2時迄の間、スクリーン印刷を教え技術が上達して来たら生産を行ない貧しい婦人達の現金収入の道を開く。(クルナに染色の隊員が1名おり活動しているが月給2000円)。 午後2時から午後4時迄は栄養、育児、家族計画、一般教養といったトレーニングもあるので隊員の能力に貢献が期待できるとも可能。 婦人局では隊員に対しインストラクターに教えて欲しいとの要望がある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: インストラクターは研修内容により、その仕事の出来る人を臨時に雇っているが一定している。対象の婦人はほとんどが学歴もなく15~30才、貧しい婦人の層に属している。					
⑤ 現地で利用できる機材: 染色用の機材として婦人局クルナでとられているものはない。 材料を集めるところから仕事せねばならない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は国民の大多数が回教徒という文化があり、女性の社会進出はまだまだ少ない。特に離婚した女性や夫を失った女性の生活の道を多く、このように女性達に職能訓練をほどこし生活の道を開くことは急務といえよう。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 実務経験 2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 3月 16日
 調査者氏名 堀越 仁一

01380015

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 印染	新規	(男) 人	91年3月	
	(日本語) 染色	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 湖北省科学技術委員会					
(日本語):					
② 隊員勤務先名称: 湖北省国营罗田茧丝绸总公司 日本語名称(国营罗田繭糸絹絲総合会社)					
所在地: 湖北省羅田県鳳山鎮 主要都市(武漢)から180キロ					
③ 事業規模及び内容: 1974年に会社が設立され1977年から生産を開始した。当地の産物は粟に於いて養蚕が重要で繭の生産量は2000tで当会社が年間150tの生糸を生産し2500000mの絹織物を生産している。職員数1,326人					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 113,500m ² の敷地には事務所、繭の選別所、生糸を生産する製糸工場、絹織物を生産する機械工場、染色工場、職員住宅がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 工程士					
② 技術の範囲: 絹織物の染色					
社					
③ 業務の形態: 当社の染色課に所属し、絹織物の染色を指導する。(多色染色の技術あり) 現在、当社の染色は技術が乏しかった商品に付いて一色(無地)に染める以外に他の工場に依頼して染色してもらっている現状にある。新しい染色工場を建設する計画もあり、商品価値の高いすぐれた染色技術が不可欠となっている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は当社の染色工場の人。カウンターパートは大半が経験5年の工程士。ただし専門は機械					
⑤ 現地で利用できる機材: 中国製染色機4台					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 中国語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地は40,000亩の桑畑があり5万戸の農家が養蚕を営んでいる。年間2000tの繭を生産している。当社はこの繭から年間150tの生糸を生産し、250万mの絹織物を生産しているにもかかわらず染色技術が乏しいため、他の工場に染色を依頼している現状にある。隊員の活躍により高品質の染色が可能になり当地の絹織物が発展することが望まれている。なお当地は国家科学技術委員会がおこなっている貧困対策地域の一つで、絹の生産増による収入の増加と生活向上が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 経験2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 8月 6日

調査者氏名

倉富 健治

(13190103)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Imprimerie	新規	(男) 1人	平成 3年 8月	
	(日本語) (270) 印刷	交代	(女) 1人 (男女不問) 1人	平成 3年 1次隊	

(1) 配属先 (元/2坊安港)

①配属先名称 (現地公用語) : Ministère de la Santé Publique
(日本語) : 保健省

②隊員勤務先名称 : Division de l'Education Sanitaire 日本語名称 (衛生教育部)
所在地 : Route de Rabat à Casablanca, Rabat 主要都市 (ラバト) から キロ

③事業規模及び内容 : 家族計画、母乳による授乳、予防接種、下痢対策などに関する広報活動を推進する部署で、本省衛生教育部に40名及び全国50の各県支所に1~2名、同部直属の職員がいる。

④設備内容 : 保健省衛生予防教育局、衛生教育部内に印刷室があり、西独、英国製の印刷機械 (写真添付が望ましい) がある。

(2) 隊員の業務内容

①隊員の業務上の地位 : 印刷技師 (Ingénieur en Imprimerie)

②技術の範囲 : 印刷機の保守操作、修理

③業務の形態 : 保健省が推進する家族計画、母乳による授乳、予防接種、下痢対策等に関する広報用のポスター、小冊子等の印刷物の作成が主な仕事である。また、印刷機の保守、操作、修理の指導をモロッコ人印刷工に対して行う。

④対象者及びカウンターパート : 専門的教育を受けていないので基本知識はないが、経験を通して技術を身につけたモロッコ人印刷工が2人程いる。

⑤現地で利用できる機材 : Heidelberg Offset 52X72cm KORS, Praktikaの350X500mm PAN, Rataprint (西独) TYPR-20 45cmX64cm Roland社印刷機 (4色刷り)、AB Dick Offset 358 (45cmX58cm) 英国製等。但し、稼働していない機械もある。

⑥第3国人等の配置 :

⑦使用する言語 : フランス語、アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

同衛生教育部には、昭和61年2月以来、協力隊員が派遣されており、配属先から高い評価を得ている。同部としては、今後益々衛生教育に関する広報活動の充実を計って行きたい意向を持っており、優秀な印刷技師の不足を補いかつモロッコ人技術補の技術向上への期待から引き続き協力隊員の派遣を希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)

専門学校卒以上で実務経験は3年以上 印刷機械の修理、保守の知識を有することが望ましい。

※事務局記入

257

青年海外協力隊派遣受け入れ希望調査表

記入 平成 2年 8月 6日

調査者氏名

倉島 健治

(13190104)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
モロッコ	(現地公用語) Imprimerie (日本語) (270) 印刷	新規 交代	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 4年 1月 平成 3年 2次隊	
(1) 配属先 (元/3, 保浦正幹)					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministère des Affaires Culturelles (日本語) : 文化省					
②隊員勤務先名称 : Imprimerie Culturelle de Rabat 日本語名称 (ラバト文化印刷センター) 所在地 : ラバト郊外 主要都市 (ラバト) から キロ					
③事業規模及び内容 : 日本政府の文化無償で供与された印刷機械を使って、文化省のものを中心に政府刊行物を印刷、製本する部署で、15名程度の技術職員がいる。					
④設備内容 : ラバト郊外に印刷センターがあり、ほとんどが日本製の印刷機械である。隊員に (写真添付が望ましい) は、印刷センター内に一室と机、椅子、ロッカー等が供与される。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : 印刷技師 (Ingénieur en Imprimerie)					
②技術の範囲 : 印刷機の保守操作、修理					
③業務の形態 : 印刷センター所長の指示に従い、文化省のものを中心に政府刊行物の印刷、製本が主な業務である。また、ほとんど日本製の印刷機械であるため、それらに機械の保守操作、修理の指導をモロッコ人印刷工に対して行う。					
④対象者及びカウンターパート : 専門的教育を受けていないので基本知識はないが、経験を通して技術を身につけたモロッコ人印刷工が15人程いる。					
⑤現地で利用できる機材 : 製版カメラ (オートコンパニカ)、フィルム自動現像機、PS版焼き付け機、PS版自動現像機、印刷機 (小森スプリント単色 : 2台、リョービ480K : 3台)、断裁機 (KACKAL85)、紙折り機 (A-2) 等。					
⑥第3国人等の配置 : いない					
⑦使用する言語 : フランス語、アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待					
同印刷センターにあるほとんどの印刷機械は、日本政府からの文化無償協力 (総額5000万円相当) によるものである。これまで、短期の専門家や協力隊員が派遣されてきたが、モロッコ人印刷工の技術は十分とはいえ、また、カラー印刷導入の計画があること等から、引き続き協力隊員の派遣を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○で囲むこと)					
専門学校卒以上で実務経験は 3年以上 印刷機械の修理、保守の知識を有することが望ましい。					
※事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^印昭和 2年 8月 21日

調査者氏名 筒井 昇

277-90-114

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
タンザニア	(現地公用語) PRINTING (日本語) 印刷 270	新規 変更	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	9年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF INDUSTRIES AND TRADE (日本語): 通産省					
② 隊員勤務先名称: TANZANIA KARATASHI ASSOCIATED INDUSTRIES 日本語名称(タンザニア印刷協会) 所在地: DAR ES SALAAM (T. K. A. I) 主要都市(市内)から キロ					
③ 事業規模及び内容: T. K. A. I 配下に6社の印刷工場があり、主要工場は①PRINT PAK CO. ②KIBO PAPER CO. ③KIUTA CO. の3工場である。総従業員数は約2000名弱、事業内容は、新聞、書籍、ビジネスフォーム、カレンダー、紙器印刷を行っており、各工場独立採算制である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 活版印刷機(枚葉)、オフセット印刷機(輪転、枚葉)、製本機(平綴中綴)裁断機、折加工機、写真製版機器(スキャナーは除く)電算写植機。独英米国製。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位 印刷技師および機械技術者					
② 技術の範囲: 活版、オフセット印刷、製本機の調整およびトラブル対策の知識を有し、かつ、機器の保守整備が可能であること。					
③ 業務の形態: T. K. A. I の事務所に籍を置き、3工場を巡回し、各社の印刷機器保全管理、印刷技術指導を行う。各社の就業時間は次の通り、					
① PRINT PAK CO. 7:30~4:00 (オペレーターは2シフト制、新聞、書籍印刷工場)					
② KIBO PAPER CO. 8:00~5:00 (紙器印刷工場)					
③ KIUTA CO. 7:30~3:30 (オペレーターは2シフト制、新聞、ビジネスフォーム印刷工場)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学、またはテクニカルカレッジ卒業者					
⑤ 現地で利用できる機材 保全に必要な工具類はそろっている。旋盤、フライス盤、溶接器等の工作機械も各工場に設置されている。 行っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: スウェーデン人(コンサルタント会社)が印刷部品輸入代行および保全指導を					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語、英語(印刷用語、機械用語は英語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タンザニアにおける多種多様な印刷を行っており、数は少ないが最新の印刷関連機器も設備されている。機械計画保全管理、印刷物品質管理、予備部品管理に関し、現地側の技術が伴わず、有効に生かされていない。印刷工場における生産性向上に関する技術指導が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
1、印刷工場経験者 2、印刷全般において幅広い知識と技術 3、機械保全管理が可能なこと					
○高校卒業以上 ○実務経験3年以上					
※ 事務局記入					

259